

2025年度 秋

学修コンシェルジュによる

理工学系大学院課程新入生ガイダンス

(9月入学者対象)

学生支援センター未来人材育成支援室 学修コンシェルジュ相談窓口
✉ concierge.desk@ssc.isct.ac.jp



学修コンシェルジュ窓口HP
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

学修コンシェルジュ 

1. 学修コンシェルジュについて **p.3-6**

2. 学生証を受け取ったら **p.7-12**

- 1) 早速設定しておきましょう
- 2) 早速確認しておきましょう

3. 理工学系大学院課程の学修について **p.13-21**

- 1) 大学院課程での学修
- 2) 修士課程のカリキュラムと修了要件等
- 3) 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等
- 4) 修士課程から博士後期課程への進学

4. リベラルアーツ教育（文系教養科目） **p.22-30**

- 1) リベラルアーツ教育（文系教養科目）
- 2) 日本語・日本文化科目

5. アントレプレナーシップ教育 **p.31-38**

- 1) アントレプレナーシップ教育
- 2) 説明会

6. 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム

データサイエンス・AI全学教育プログラム

相互履修科目 **p.39-42**

- 1) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム
- 2) データサイエンス・AI全学教育プログラム
- 3) 大学院相互履修科目

7. 学位プログラムとして特別に設けた教育課程と新設コース **p.43-54**

- 1) エネルギー・情報卓越教育課程
- 2) 物質・情報卓越コース
- 3) 超スマート社会卓越教育課程
- 4) 各教育課程の説明会

8. 経済的支援 **p.55-66**

- 1) 経済的支援
- 2) 日本学術振興会特別研究員

9. 大学院生活をより豊かに **p.67-88**

- 1) 海外留学
- 2) 語学学修
- 3) にほんご相談室
- 4) ライティングセンター
- 5) 支援体制・相談窓口
- 6) 図書館
- 7) リベラルアーツ図書室
- 8) 東京科学大学博物館・資料館
- 9) TSUBAME計算サービス
- 10) オンライン教育：MOOC
- 11) アントレプレナーシップ育成プログラム
- 12) 起業支援
- 13) 東工大同窓会による支援活動
- 14) Taki Plazaでの学生交流
- 15) 大岡山キャンパスのグループ学修室
- 16) 修学国際交流・留学生支援
- 17) 学生支援センター主催のセミナー

10. 修士課程2年間の主なスケジュールと進路報告のお願い **p.89-91**

- 1) 修士課程2年間の主なスケジュール（概要）
- 2) 進路報告のお願い

1. 学修コンシェルジュについて

学修コンシェルジュのご紹介

学修全般に関するご相談を受付けています。

- 皆さんが**本学での学修をスムーズに進めていけるように**、相談、ガイダンスやセミナーなどの支援を提供しています。
- 履修の仕方、学修計画や大学生活について何か困ったこと・わからないことがあれば**、お気軽にご相談ください。英語対応可能です。

◇相談の利用方法

- 対面相談**：Taki Plaza、もしくはすずかけ台図書館の窓口へお越しください。
詳細は続く2ページをご覧ください。
- メール相談・Zoomでの相談**：氏名、学籍番号、所属学院・系／コース、および相談内容を名記したうえ、次のアドレスへメールをお送りください。Zoomでの相談をご希望の場合はまずは相談日程を調整しますので、メールで希望日時をお知らせください。

✉ 学修コンシェルジュ相談窓口：concierge.desk@ssc.isct.ac.jp

さらに詳しい情報は学修コンシェルジュウェブサイトをご確認ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

※学修コンシェルジュは、学生支援センター未来人材育成支援室に所属するスタッフ教職員です。





- 1 本館
- 2 学術国際情報センター(GSIC)
- 3 Hisao & Hiroko Taki Plaza (Taki Plaza)
- 4 百年記念館（博物館）
- 5 大岡山図書館

場所：Taki Plaza 地下1階
Student Support Center窓口

時間：月曜日～金曜日 9:15～17:15

★ご利用の際は、「学修コンシェルジュに相談」とお伝えください。

※祝日・年末年始はお休みです。

※イベント等で、一時的に不在の場合があります。

※やむを得ない事情により窓口を閉めることができます。



[すずかけ台キャンパス]

すずかけ台図書館学修コンシェルジュ相談窓口

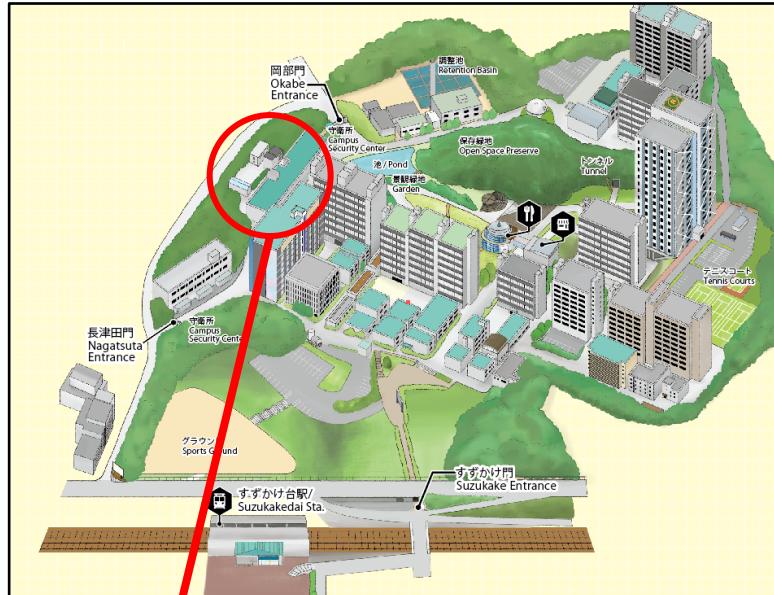
場所：すずかけ台図書館1階
(1階入口から入って右奥)

時間：原則毎週2日間 **9:30～16:00**
(11:15～12:15を除く)

※すずかけ台窓口の開室情報は、
Googleカレンダーでご確認ください。



- ※祝日・年末年始はお休みです。
- ※イベント等で、一時的に不在の場合があります。
- ※やむを得ない事情により窓口を閉めることができます。



すずかけ台図書館



2. 学生証を受け取ったら

1) 早速設定しておきましょう

□ キャンパス無線LANの設定

- キャンパスで無線LANを利用する場合は、次の利用ガイドに従い事前に設定を行ってください。

<https://www.noc.cii.isct.ac.jp/wireless/st-guide/>



□ ソフトウェア包括ライセンスサービス

- Microsoft Officeなど、ソフトウェア包括契約に基づき様々なサイトライセンスが提供されています。利用情報を確認のうえ活用しましょう。

<https://www.gsic.titech.ac.jp/node/39>

<http://www.officesoft.gsic.titech.ac.jp/index.shtml>



□ Science Tokyo認証システム

- 後続のスライドでご紹介する「Science Tokyo Gmail」「Science Tokyo Slack / Box」等を利用するためには初期設定を済ませておきましょう。

<https://www.dx.titech.ac.jp/public/st/auth/>



□ **Science Tokyo Gmail** (「@m.isct.ac.jp」) の設定

- ・本学構成員それぞれにメールアドレスが付与されています。
- ・在学中はこちらのアドレスを使いましょう。
- ・授業や履修申告などに関する重要な情報も届きます。しっかり確認するようにしましょう。
- ・利用方法の詳細は次のサイトを参照ください。

<https://www.dx.titech.ac.jp/st/gmail/>



□ **Tokyo Tech Mail** (「@m.titech.ac.jp」) の設定

- ・理工学系ICカード保持者に付与されるメールアドレスです。
- ・利用方法の詳細は次のサイトを参照ください。自動転送設定や携帯電話アドレスへの転送設定の方法も掲載しています。

<https://portal.titech.ac.jp/ezguide/webmail.html>

当面は理工学系メール (Tokyo Tech Mail) からも通知が届きますので、両方のサービスのメールを読むようにして下さい。



□ Science Tokyo Slack / Box

- ・本学ではコミュニケーションツール「Slack」とストレージサービス「Box」を大学の情報基盤として、全ての課程学生等に提供しています。
- ・大学から皆さんへのお知らせをメールからSlack / Boxに順次切り替えていますので、投稿をチェックするようにしましょう。
- ・メールの持つ脆弱性等を避け、安全なコミュニケーションが可能なSlack/Boxを積極的に活用していきましょう。

<https://portal.isct.ac.jp/ja/sys/slack/>



□ 学修関連システム

✓ Science Tokyo ポータルから利用可能なシステム

• Science Tokyo LMS

東京科学大学の学修管理システムです。履修科目のシラバスのほか、休講情報の確認、講義動画の視聴、講義資料のダウンロード、課題提出などの機能があります。

✓ 理工学系ポータルから利用可能なシステム

理工学系では、現在2種類の学修関連システムの運用があります。

• 教務Webシステム

理工学系学生向けの教務システムです。履修申告や成績の確認、系所属志望申告等を行うためのシステムです。

• 学修ポートフォリオシステム

理工学系学生向けのポートフォリオシステムです。学生自身が学修の過程や学修成果等を記録し、管理することができます。

✓ 学内ポータルを介さないシステム

• Science Tokyoシラバス

理工学系授業科目のシラバスをご覧いただけます。

学修関連システムの詳細はウェブサイトで！
<https://students.isct.ac.jp/ja/011/lectures-courses-degrees/portal-lms>



2) 早速確認しておきましょう

□ 2025年度『大学院学修案内』

大学院共通の履修案内と各コースの学修課程に加えて、各種科目群の履修案内、所属コース以外の教育課程やプログラムの履修案内も含まれています。『学修案内』の内容に基づき履修計画を立てましょう。

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2025/graduate/

□ 大学院新入生オリエンテーション

個別科目のオリエンテーション（例：アントレプレナーシップ科目オリエンテーション）およびコースのオリエンテーションがあります。いずれも履修・学修に関する必要な情報について説明を行う予定です。日程を確認のうえ、必ず参加するようにしてください。

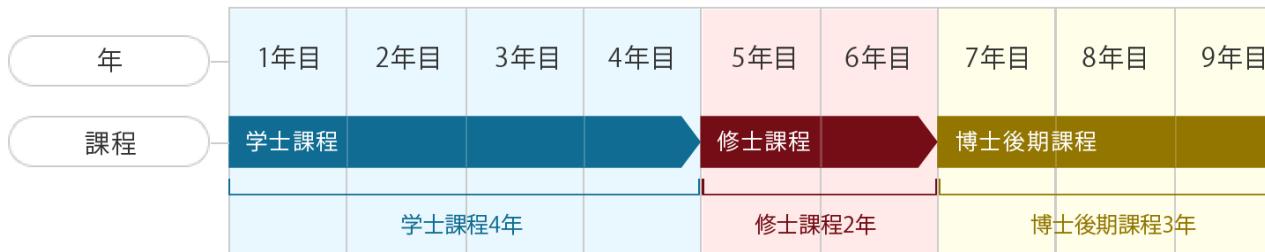
3. 理工学系大学院課程の学修について

1) 大学院課程での学修

● 学修期間

- 標準の在学期間は、修士2年間、博士3年間
- 早期卒業・短縮修了すると大学院課程を最短3年で博士学位を取得できます。自らの目標に合わせて柔軟な学修期間に設定できます。

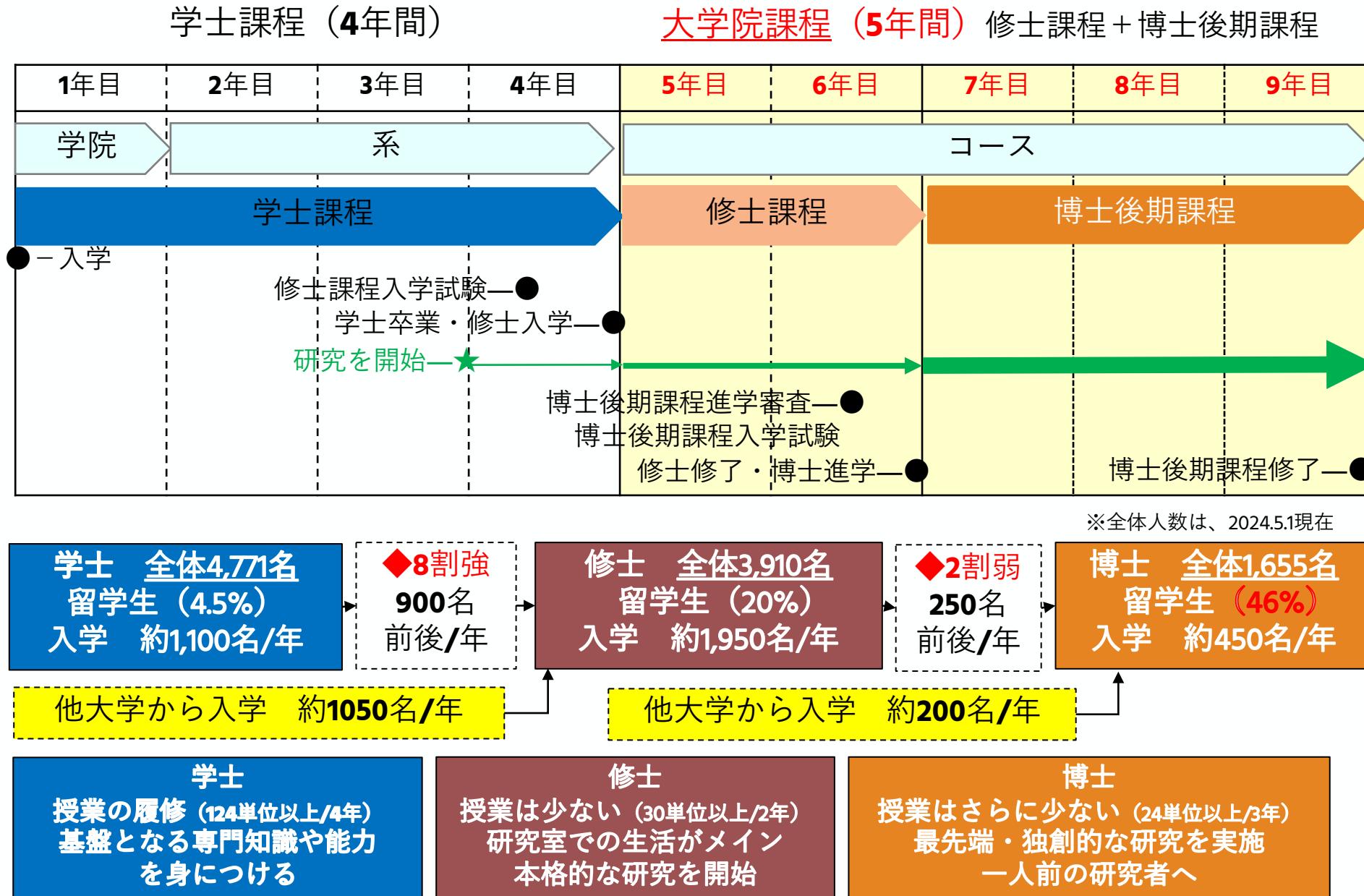
【標準の在学期間】



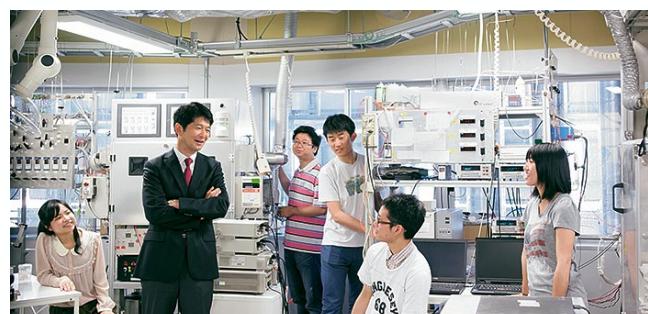
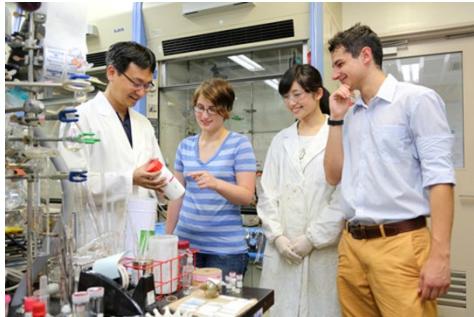
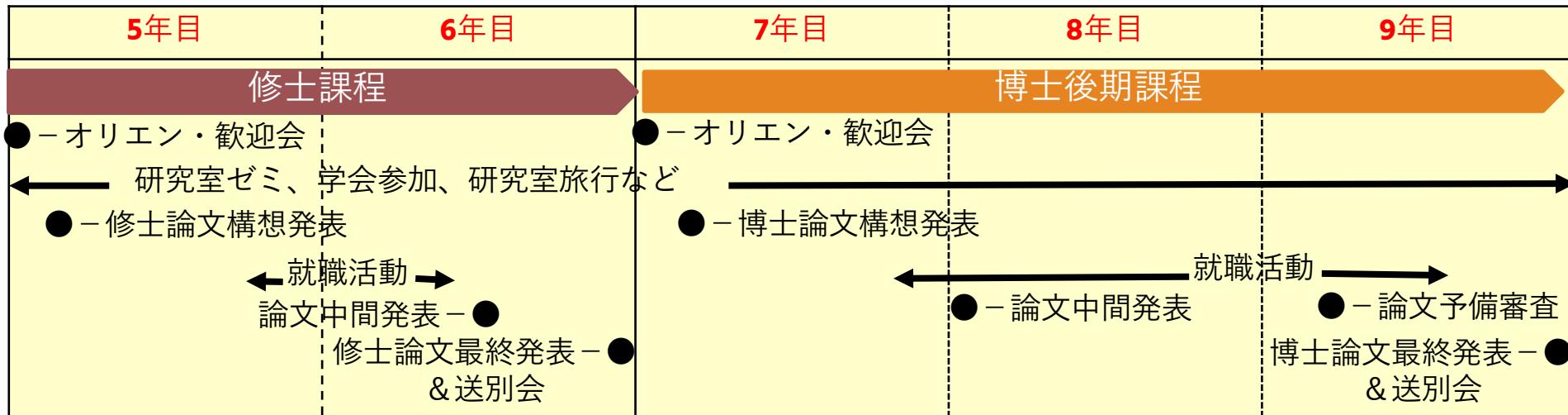
【7年間で早期卒業・短縮修了する例】



● 学士課程から大学院課程へ



● 年間スケジュールと主な活動の例 (修士・博士)

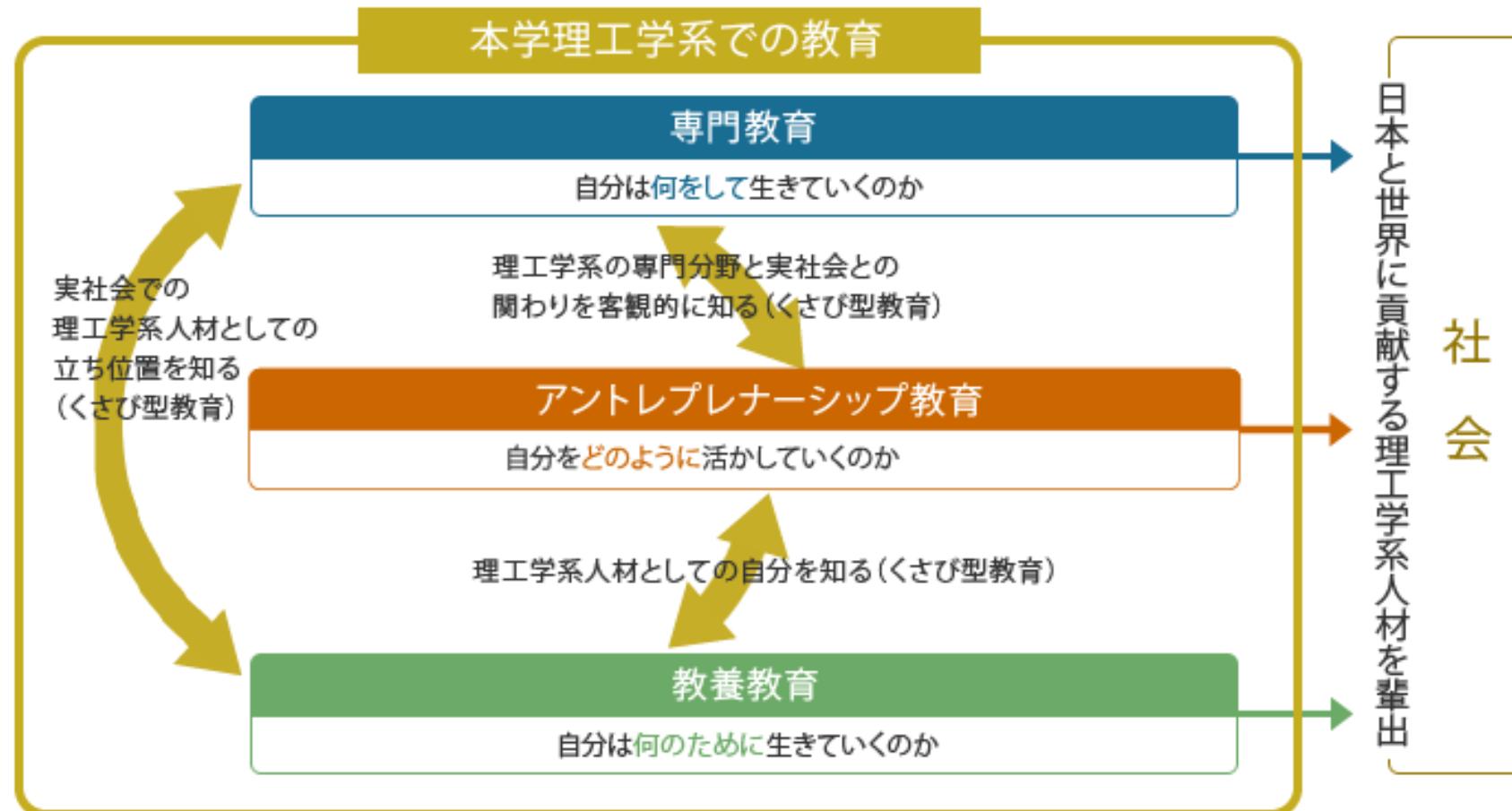


大学院生は、授業や講義よりも
研究室での研究が主な活動の場です。

実験や、議論、論文読み会、セミナーなど、指導教員や研究室の
メンバーとともに過ごす時間が多くのことを占めることになります。
研究室メンバーには、留学生や社会人、研究生がいることもあります。
また、企業インターンシップに参加したり、国際学会で発表したり、
学術誌に研究成果を投稿することもあります。

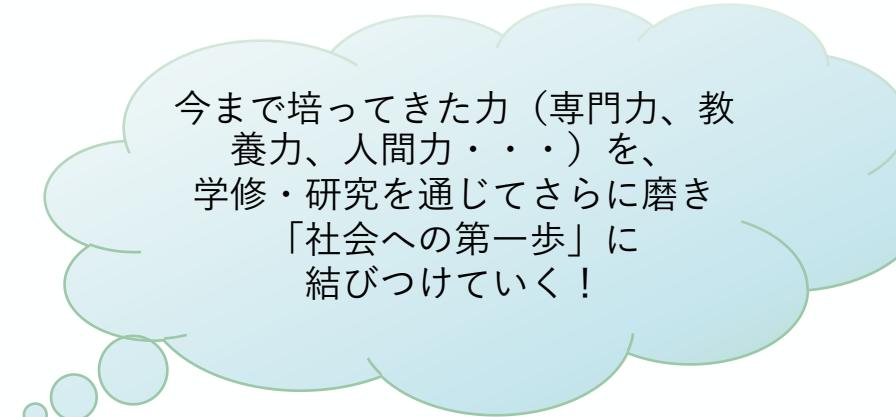
- 本学理工学系の教養教育とアントレプレナーシップ教育

- 本学理工学系学生に期待されているのは、理工学系の専門性だけではありません。
- 自分は何のために生きていくのか、自分をどのように活かしていくのか、という自分の考え方を持つことで、専門分野を活かし社会に貢献する力が身につきます。



● 大学院課程でできること

1. 修士・博士の学位が取れる、自分の最初の1つの専門領域を確立する
 - ・講義（コースワーク）による知識・技術習得
 - ・研究室に所属して研究を行い学位論文を完成させる
2. 世界レベルの研究に参加できる
 - ・最先端の研究者との交流
 - ・留学による研究への参加
3. 教養を身につけることができる
 - ・教養教育に関する講義
 - ・同窓会主催の各種講演会
 - ・留学生との交流
4. 各学会活動への参加
 - ・学会での最先端技術情報の収集
 - ・研究論文の発表
5. 修士課程の副専門学修プログラム、特別専門学修プログラムで専門の幅を広げる
6. 学位プログラムとして特別に設けた教育課程で「専門+α」を本格的に目指す
7. 将来の夢への第一歩を踏み出す準備
 - ・アントレプレナーシップ教育、キャリア支援（イベント、個人相談）
 - ・同窓会主催学内合同企業説明会（K-meet）



今まで培ってきた力（専門力、教養力、人間力・・・）を、学修・研究を通じてさらに磨き「社会への第一歩」に結びつけていく！

大学院時代は、学修、研究に集中しながら、同時に、「今まで培った力をどこでどう活かしてこの先、生きていくのか」を本格的に考える時期です。

2) 修士課程のカリキュラムと修了要件等

修士課程（専門職学位課程）に入学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 400～500番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、アントレプレナーシップ科目を中心に履修。

《修了要件》400～500番台から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上（400番台）1単位以上（500番台）
アントレプレナーシップ科目：2単位以上（400～500番台）
（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：18単位以上
講究科目：4-8単位（各コースにより異なる）

※専門職学位課程：専門職大学院に2年以上在学し、40単位以上の修得、その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

◆その他

- 学位は、修士（理学・工学・学術）、専門職（技術経営）
- 標準修業年限は2年、在学年限は4年。休学は通算2年迄。
- 特に優れた研究業績がある場合や、修士課程に入学する前に修得した大学院の単位を既修得単位認定した場合は、修士課程を短縮修了できる可能性あり。

3) 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、アントレプレナーシップ科目を中心に履修。

《修了要件》**600番台から24単位**以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上

アントレプレナーシップ科目：4単位以上

(指定するGAを満たすこと)

専門科目等：6単位（コースによっては専門科目 6 単位）

講究科目：12単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

◆その他

- 学位は、博士（理学・工学・技術経営・学術）
- 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程 + 博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。
(参考：学士課程3年で早期卒業 + 大学院課程 3 年で短縮修了 可能)

4) 修士課程から博士後期課程への進学

学内からの進学

※大学院進学関係事務日程

<https://www.titech.ac.jp/student/students/procedures/applying>

検定料：なし 入学料：なし



(4月進学)

11月上旬：進学願書配布開始

① 【大岡山】教務課大学院グループ窓口

② 【すずかけ台】教務課すずかけ台教務グループ窓口

12月上旬：進学願書提出締切

12月～2月：進学試験実施

内容は志望先による。

※外国語試験についても志望先によって異なるため大学院学修案内を
参照のこと。

3月中旬：進学者決定

4. リベラルアーツ教育（文系教養科目）

1) リベラルアーツ教育（文系教養科目）

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦糸と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横糸で、
未来を紡ぎます。



リベラルアーツ研究教育院は**21世紀社会の時代的課題**を把握し、その中の自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く追究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。



リベラルアーツ教育の3つの特徴

① 「志」と主体的な学びのストーリー

豊かな社会性・人間性をもって専門的な知を実社会で活かしていくことのできる、志ある人材を育成します。学生は、自分の志に即して科目を選び、学びを主体的にデザインします。

② 教養コア学修科目

教養コア学修科目は、教養教育の柱となるユニークな科目。学士課程入学直後から博士課程まで続きます。「立志プロジェクト」「教養卒論」「リーダーシップ道場」「越境型教養科目」などがあります。

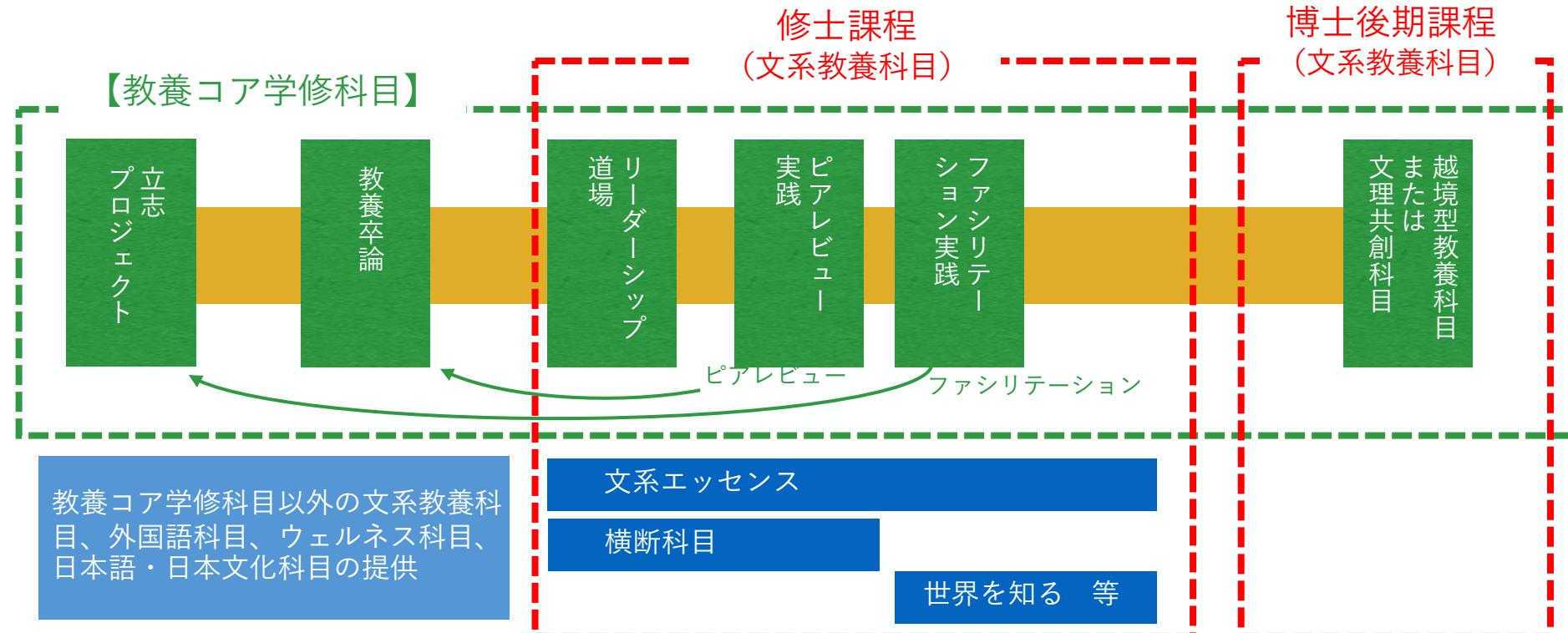
③ 教え合い・学び合い

同じクラスの仲間や下級生と、教え合い、学び合うグループワークの機会が多数あります。リーダーシップやファシリテーションスキルを磨きます。

◆文系教養科目 (リベラルアーツ研究教育院が提供する教養科目)

現実社会に起こっている問題で、ひとつの学問領域だけの力で解決できる問題はありません。どんな高度な専門知識も、それを実社会で生かすためには、他者と関わりながらプロジェクトをすすめていくリーダーシップや、諸学問全体の見取り図の中での自分の専門分野の位置を理解する俯瞰力、世界のさまざまな地域の文化的・社会的背景に対する知識が必要です。

文系教養科目は、以下のようないくつかの科目のカテゴリーに分かれています。一つのカテゴリーの中に、内容の異なる科目がひとつないし複数用意されています。



<修士課程における教養コア学修科目>

リーダーシップ道場

仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身につけます。

所定の成績で合格した学生は、身につけた能力を活かしてさらにスキルを高めるための実践科目が用意されています。

ピアレビュー実践

論文執筆の支援を通じて、アカデミック・ライティングの基礎知識を学ぶとともに、対話によって書き手の考えを引き出すスキルを身につけます。

「教養卒論」の執筆をサポート

ファシリテーション実践

ファシリテーションの経験を通して、個性を重視しチームとしての力を発揮する「支援型リーダーシップ」を実践します。

「立志プロジェクト」でのグループワークをファシリテート



<博士後期課程における教養コア学修科目>

越境型教養科目

先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、多様なバックグラウンドを持つ異分野の研究者と協力して課題解決の提案を行います。博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造します。

文理共創科目

各分野の第一線で活躍するゲストを招き、ゲストによる研究発表とディスカッション、履修生によるグループワークを行います。コンバージェンス・サイエンスの新たな展開と可能性を模索します。

専門分野や文化的背景の異なる学生間でのコミュニケーション能力の確立
リーダーシップ・学際性・情報発信能力の涵養、社会における役割の自覚

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程①）

文系教養科目の科目コードは「LAH」から始まります。

文系教養科目には、教養コア学修科目とそれ以外の科目があります。

➤ 修了要件

修士課程：400番台の科目を2単位以上、500番台の科目を1単位以上

※「教養コア学修科目」または「教養コア学修科目以外の科目」だけで合計3単位修得しても、両者を組み合わせて修得しても、どちらでも構いません（すべて1単位）。

➤ 履修の進め方（番台順）

本学では、学士から博士後期課程まで継続的に教養科目を履修する「くさび型教育」を実践しています。番台順に履修することが推奨されており、**修士課程入学直後の学期（4月入学者であれば1・2Q、10月入学者であれば3・4Q）に履修申告できる文系教養科目は400番台のみです。**

500番台文系教養科目は、入学後半年してから（4月入学者であれば3・4Q、10月入学者であれば翌年1・2Qから）履修可能となります。

➤ 教養コア学修科目

- 400番台：「リーダーシップ道場」（1Q～4Q開講）
- 400番台：「ピアレビュー実践」（3・4Q開講）
- 500番台：「ファシリテーション実践」（1Q開講）

「ピアレビュー実践」「ファシリテーション実践」を履修するためには、「リーダーシップ道場」を履修し、80点以上の成績を修める必要があります。

➤ 教養コア学修科目以外

「文系エッセンス」（文学、政治学など）、「横断科目」（様々な専門の先生のコラボ）、「世界を知る」（世界の文化、宗教など地域スタディ）など。すべてのクオーターで開講しています。

変更される場合もありますので、常にシラバスや「文系教養科目案内」サイトなどで、最新情報を確認して下さい。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程②）

➤ 履修予約

- 修士課程文系教養科目は、「履修予約」制度を設けています。通常の履修申告期間に先立ち、履修希望を受け付けし、履修許可科目を決定する制度です。それぞれの科目の特性に応じて設定された受講人数で、できるだけ多くの皆さんの希望に沿った科目を履修してもらうためのもので、年に2回（1・2Qの前、3・4Qの前）実施しています。
- 履修希望の回答手続きは教務Webシステム上で行います。履修予約期間終了後、希望者多数の科目については抽選を行った上で、履修許可者を決定します。履修予約時に抽選になる科目も多くあります。履修の際には、履修予約で許可された学生が優先されますので、必ず履修予約を行ってください。

ただし、入学直後の今年度3・4Q文系教養科目については、10月入学の皆さんには10月入学者用の枠を設けていますので、履修予約する必要はありません。通常の履修申告を行ってください。10月入学者枠が定員超過しない限り、履修することができます。来年度1・2Q分からは、履修予約制度を利用しながら履修を進めてください。

履修予約実施の案内はメールでお知らせします。大学から与えられているメールアドレス宛（～@m.isct.ac.jp）に送信される、大学からのメールは必ず確認してください。

※送信されたメールは、教務Webシステムトップ画面の「お知らせ」欄でも確認できます。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（博士後期課程①）

➤ 修了要件

博士後期課程：600番台の科目を2単位以上

□ 「越境型教養科目」（すべて英語開講、1科目2単位）

- 2Qおよび4Qに開講します。同一内容ですのでいずれかのQで履修してください。
ZOOMによるライブ授業（5回）とオンデマンド授業（2回）で構成されます。
- ライブ授業は、おおよそ隔週土曜日（1～4限）に、ZOOMを使って実施されます。
シラバスで開講日を確認し、必ず全回出席できるクオーターを選んで履修申告してください。 体調不良等、やむを得ない欠席の扱いについてはシラバスで詳細を確認してください。

□ 「文理共創科目」（1科目2単位） ※1単位の科目は、2022年度以降の入学者は履修できません。

- 1Q～4Qに開講します。学外の講師を招いての研究会形式で開催されるため、開講日程や時間帯が変則的な形で設定されている場合があります。
シラバスで開講日時や履修条件について、必ず事前に確認してください。

➤ 履修人数制限について（「越境型教養科目」「文理共創科目」共通）

- 履修希望者数が定員を超える場合は、教務Webシステム上の履修申告状況に基づいて人数制限（抽選）を行います。人数制限（抽選）は「初回授業の実施日より前」の所定の時期に実施されます。各科目のシラバスに記載された期日までに、必ず履修申告を行ってください。
- 大学からの重要なお知らせは大学から与えられているアドレス宛（～@m.isct.ac.jp）に送信されます（人数制限が行われた際の結果のお知らせなども、このアドレスを通じて連絡が届きます）。各自早めにメールアドレスの設定をし、メールを必ず確認してください。

【問合せ先】リベラルアーツ研究教育院（修士課程・博士後期課程共通）

■文系教養科目

bunkei@jim.titech.ac.jp

■教養コア学修科目

core.jimu@ila.isct.ac.jp

「文系教養科目案内サイト」 <https://bunkei.ila.titech.ac.jp/>



2) 日本語・日本文化科目

- ・日本語を学ぶ留学生のための科目です。
大学院日本語科目には初級から上級（前半）までのクラスがあります。

日本国内の大学（本学を含む）の学部を卒業した学生等、開講科目よりも日本語能力が高い学生は、受講することができません。

- ・日本語・日本文化科目の単位を取得することで、文系教養科目の単位とみなすことができます。
博士後期課程も対象となります。

- ・技能別のクラスでは、会話、漢字、ライティング、キャリア対策なども学べます。

- ・履修する場合は、以下のURLから日本語・日本文化科目のウェブページにアクセスし、必要な手続きを行ってください。



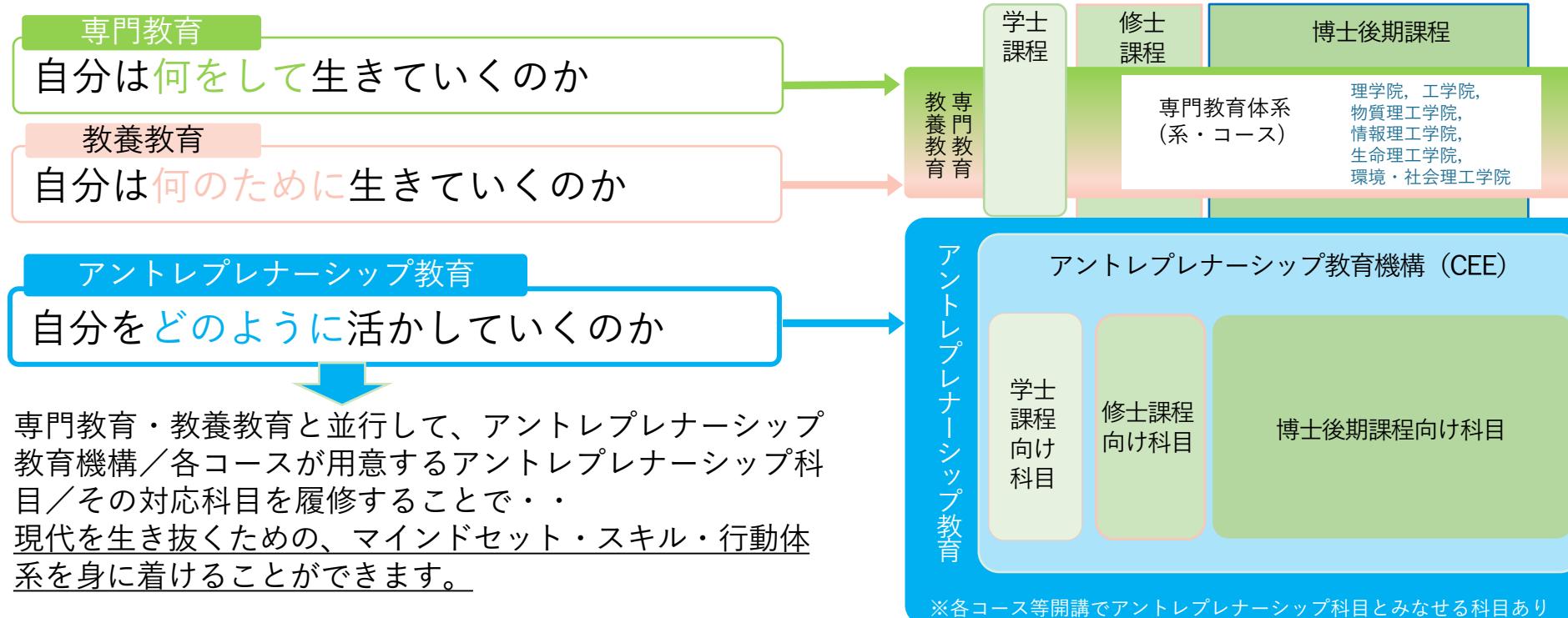
http://js.ila.titech.ac.jp/~web/japanese_j.html

Japanese Language and Culture Courses for Graduate Students						
Basic		Pre-Inter		Intermediate		Pre-Advanced
B1, B2	B3, B4	I1, I2	I3, I4	I5, I6	I7, I8	U1 ~ U8
REGULAR COURSE						
400Lv	400Lv	400Lv	400Lv	500Lv	500Lv	
Basic Japanese 1,2	Basic Japanese 3,4	Intermediate Japanese 1,2	Intermediate Japanese 3,4	Intermediate Japanese 5,6	Intermediate Japanese 7,8	
SPECIFIC SKILL COURSE 400Lv						
Japanese conversation	Pre-inter. 1,2	Inter. 1,2	Inter. 3,4			
Japanese kanji	Basic 1-4	Inter. 1,2	Inter. 3,4			
Japanese seminar				3~6, 9/10	1~10	1/2, 7/8
JAPANESE CULTURE COURSE 500Lv						
1: Strategic approach to Japanese and culture	2: Strategic approach to Japanese and culture					3/4: Multi-cultural collaboration
Japanese culture and language 1, 2, 3, 4 (for registration only)				600Lv		

5. アントレプレナーシップ教育

1) アントレプレナーシップ科目

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくために



【本学のアントレプレナーシップの定義】

「VUCA の時代」^(※)の国際社会を生き抜くためには、専門能力とともに、「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系(マインドセット・スキル)」が素養として必要であるとされており、そのような自主性に基づいた行動体系を本学では「アントレプレナーシップ」と定義しています。アントレプレナーシップは、コンピュータでいうOSのようなもの、学生の将来の進路に関わらず必要とされている行動体系です。

※現代は、科学・技術の急速な進展により、グローバル化、地球環境、安全保障などの問題が複雑に絡み合い、予測困難な状況にあることから、「VUCAの時代(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)」と呼ばれています。

本学では、アントレプレナーシップ教育を実施していくうえで、学生に身につけてもらいたい「必要な要素」を、以下の5つに分類しております。

先見性 国際性 リーダーシップ 価値創造 キャリア構築

先見性	リーダーシップ
科学技術を基盤としてより良い社会の将来像を明確に描くことができる力。	隠れた思い込みの自覚に努め、多様性を尊重しつつ、自らの評価軸をもとにした主体的意見を表明し、さまざまなステークホルダー間の合意形成を図ることができるリーダーシップと求心力。
国際性	価値創造
グローバルな課題の本質や、自身とのつながりを理解し、情報収集、分析、考察等を経た上で、解決のための提案ができる力、さらに、自身と異なる背景（文化、慣習、母語等）や価値観をもつ個人に対し、または集団の場において、他者に配慮し、相互理解を深めたうえで協働できる力。	自らの専門における本質的課題の洞察をもとに、解決策の提案・実行・複数視点からの検証等のプロセスを繰り返すことで新たな価値を生み出す創造力、および、その蓋然性を向上させて実社会に結実させる展開力と、目的意識をもって成し遂げる実行力。
キャリア構築	
	自分の将来に参考となるロールモデルを見出だす力や自分の将来のキャリアを構築する力。業界・企業分析、組織の財務会計、法律・標準等のルール、起業、倫理、SDGs等社会人として活躍するために必要不可欠な基礎的知識、さらに自己理解・自己PR、コミュニケーション、思考法、文書作成力、アジェンダ設定力、リーダーシップ等のスキル。

● アントレプレナーシップ教育コア（修士課程/専門職学位課程）

➤ アントレプレナーシップ科目の履修単位とGA (Graduate Attributes)

- 修士課程修了要件として、アントレプレナーシップ教育機構（CEE）や所属コースが開講するアントレプレナーシップ科目（アントレプレナーシップ科目対応科目*を含む）のなかからGAがついている科目を2単位以上履修する必要があります。

*・・・アントレプレナーシップ科目とみなすことができる専門科目

アントレプレナーシップ科目対応科目をアントレプレナーシップ科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることはできません。

- それぞれのアントレプレナーシップ科目に下記のGAが設定されています（科目によってどちらか片方のGAの場合、両方の場合があります）。GAがついていない科目は、アントレプレナーシップ科目修了要件に含めることはできません。
- 履修するアントレプレナーシップ科目の2単位は、2つのGAをいずれも満たす必要があります。（両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります。）
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースに、社会人学生のための科目もあります。必要に応じて指導教員とご相談ください。

➤ 修士課程アントレプレナーシップ科目のGA

【GA0M】 自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会と関係、倫理を含めて認識できる

【GA1M】 自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理、
アントレプレナーシップ等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる

➤ 履修スケジュール

- 1年次最初の段階ではGA0M科目を履修し、その後GA1Mが含まれる科目を履修することが望ましいですが、順番どおりではなくても問題ありません。
- 修士課程スタート時に集中して講義を履修するよりも、2年間の計画として研究と講義のバランスを考えて履修する方が効果的に研究・学修ができます。

● アントレプレナーシップ教育コア（博士後期課程）

➤ アントレプレナーシップ科目の履修単位とGA（Graduate Attributes）

- 博士後期課程修了要件として、アントレプレナーシップ教育機構（CEE）や所属コースが開講するアントレプレナーシップ科目（アントレプレナーシップ科目対応科目*を含む）のなかからGAが付いている科目を4単位以上履修する必要があります。
*・・・アントレプレナーシップ科目とみなすことができる専門科目
アントレプレナーシップ科目対応科目をアントレプレナーシップ科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることはできません。
- それぞれのアントレプレナーシップ科目に、下記のGAが設定されています（科目によってどちらか片方のGAの場合、両方の場合があります）。GAがついていない科目は、アントレプレナーシップ科目修了要件に含めることはできません。
- 履修するアントレプレナーシップ科目の4単位は、2つのGAをいずれも満たす必要があります。（両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります。）
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースには、社会人学生のために開講されている科目もありますので、必要に応じて指導教員と相談してください。

➤ 博士後期課程アントレプレナーシップ科目のGA

【GA0D】自らのキャリアを明確にデザインし、アカデミア・産業界の構成員として活躍するための知識・スキル、社会的責任、倫理等を包括的に理解して、イノベーション実現に貢献できる

【GA1D】自らがデザインしたキャリアを実現するために必要な高度なリーダーシップ、アントレプレナーシップ、知識・スキル、社会的責任、倫理等を身に着けることで、イノベーションの実現を主導できる

➤ 履修スケジュール

- 1年次最初の段階ではGA0D科目を履修し、その後GA1Dが含まれる科目を履修することが望ましいですが、順番どおりではなくても問題ありません。

アントレプレナーシップ科目を履修するまでの手順（修士課程・博士課程共通）

※CEE開講のアントレプレナーシップ科目の科目コードは「ENT」で始まります。

1. 所属コースの学修案内でアントレプレナーシップ科目についての修了要件を確認



2. どのようなアントレプレナーシップ科目が開講されているかを確認

- CEEが開講するアントレプレナーシップ科目は、上記「大学院学修案内」の「教養科目群履修案内」のアントレプレナーシップ科目で確認できる。
- 所属コース等が開講するアントレプレナーシップ科目(アントレプレナーシップ科目対応科目を含む)は、上記「大学院学修案内」の「各コース等学修課程」の所属コース等で確認する。
- 各科目の講義内容、担当教員、日程などはシラバスを参照する。シラバスは、Science Tokyoシラバス (<https://syllabus.s.isct.ac.jp/>) トップページで「講義検索」を行い、該当ページを探す。

1.学修案内等一覧

3. 履修する科目を決めて履修申告

「学修関連システム」「東京科学大学理工学系（旧東工大）ポータル」
「Tokyo Tech Portal」「教務Webシステム」「履修申告」



3.学修関連システム

アントレプレナーシップ科目 (必修) 合同説明会～大学院生向け～

Orientation on required entrepreneurship courses -For graduate students-

On Zoom

9/26
金 FRI

9/30
火 TUE



修士課程学生/Master's students

17:00-17:40 日本語/Japanese

17:50-18:30 英語/English

博士後期課程學生/PhD students

17:00-17:30 日本語/Japanese

17:40-18:10 萬語/English

申込/Registration



詳細(日本)



Details
(English)





アントレプレナーシップとは？何に役立つ？何単位必要？どういう科目がある？
基本的な質問にお答えします！What is entrepreneurship and how is it useful?
How many credits are required? What kind of courses are available?
We'll answer your basic questions!



アントレプレナーシップ科目に関する問い合わせ先（修士課程・博士後期課程共通）
アントレプレナーシップ教育機構（CEE）



<https://www.cee.titech.ac.jp>
info@cee.isct.ac.jp

6. 副専門科目・特別専門科目/ データサイエンス・AI全学教育プログラム/ 相互履修科目

1) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム

- 所属コースの専門分野の他に「副専門」「特別専門」として、他の分野を体系的に学修し、専門の幅を広げることが可能です。

- ・副専門学修プログラム（例）



- ・特別専門学修プログラム（例）



工学院
経営工学コース 

理学院 数学コース $\sqrt{\pi}$

情報理工学院
数理・計算科学コース 

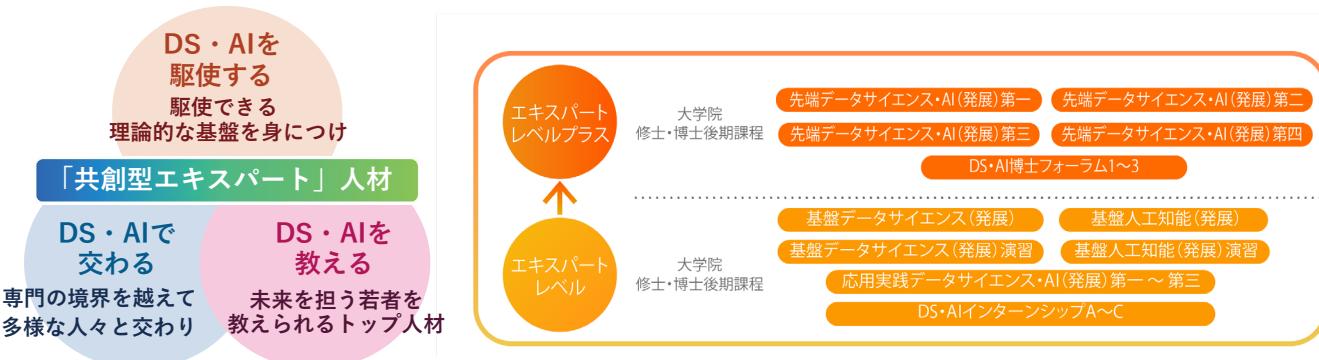
「数学の科目（主専門と同じ）」と数学コースが「数理ファイナンスのために開講する科目」を履修します。

2) データサイエンス・AI全学教育プログラム

DX（デジタル・トランスフォーメーション）が急速に進む現代社会において、データサイエンス・AI（DS・AI）は、社会生活・産業・研究開発などあらゆる分野で、必要不可欠な知識・技術です。

データサイエンス・AI全学教育機構は、**所属する学院の専門分野に依らず**、最先端のDS・AIの知識と技術を、領域横断的かつシステムティックに学修することで、
①DS・AIを駆使し ②DS・AIで交わり ③DS・AIを教えることのできる

「**共創型エキスパート人材**」の育成を目指す全学教育プログラムを実施しています。



エキスパートレベル 科目構成

基盤系科目

基盤DS（発展）
基盤AI（発展）
各 1 単位

基盤DS（発展）演習
基盤AI（発展）演習
各 1 单位

応用実践系科目

応用実践DS・AI（発展）第一～第三
各 1 単位

共創系科目
DS・AIインターンシップ A～C
各 1 単位

- 基盤系の講義科目【基盤DS（発展）・基盤AI（発展）】から2単位及び
その他科目【基盤DS・AI（発展）演習科目+応用実践系（発展）科目+共創系科目】から
2単位を取得

- 基盤系科目では、DS・AIの理論的基盤を修得し、
応用実践系科目・共創系科目では、企業連携を通して、
DS・AI技術を用いた社会的課題解決を学ぶ。

プログラム修了者には、オープンバッジを授与



エキスパートレベルプラス 科目構成

先端DS・AI（発展）第一 1 単位

基盤AIで修得した知識に加え、
さらに高度で最新のAIの理論
と技術を深く学ぶ。

先端DS・AI（発展）第二 1 単位

基盤DSで修得した知識に
含まれない、重要なDSの理論と
技術を広く学ぶ。

先端DS・AI（発展）第三 1 単位

情報社会におけるAI倫理、
情報法制度、責任あるAIを実現するた
めの技術を学ぶ。

先端DS・AI（発展）第四 1 単位

各分野で活躍するリーダーを育成するた
め、DS・AIをビジネスに活用するた
めの基礎を学ぶ。 (2025年度新設)



プログラム修了者には、オープンバッジを授与



3) 相互履修科目のご案内

- 医科歯科系との相互履修が可能になりました。下記リンクからご確認いただけます。

<https://science-tokyo.app.box.com/file/1973964819778?s=bat8k2v4v14aw8la7mi53qoid9gpt2jx>

7. 学位プログラムとして特別に設けられた 教育課程と新設コース

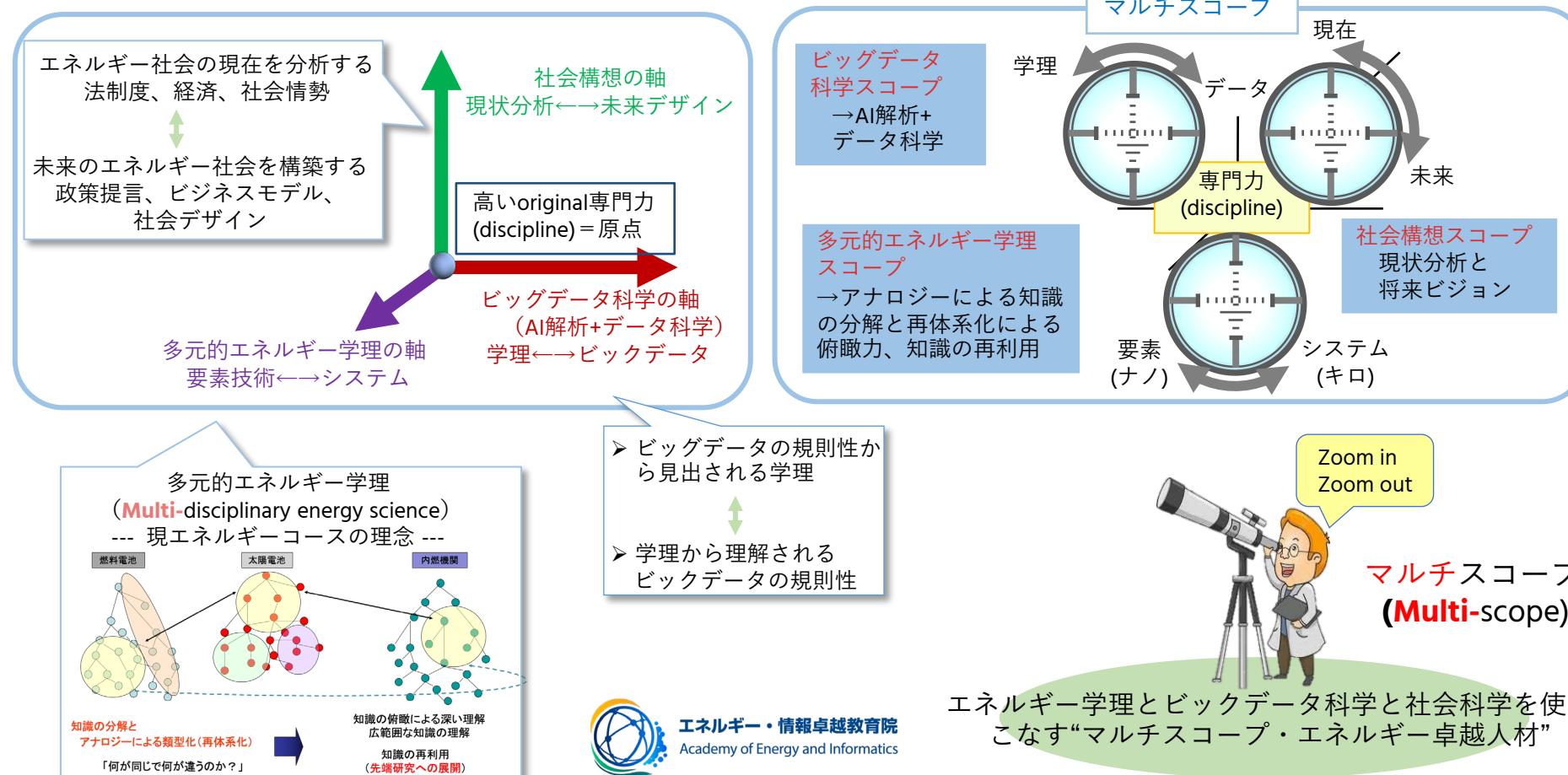
1) エネルギー・情報卓越教育課程

① 教育課程の目的

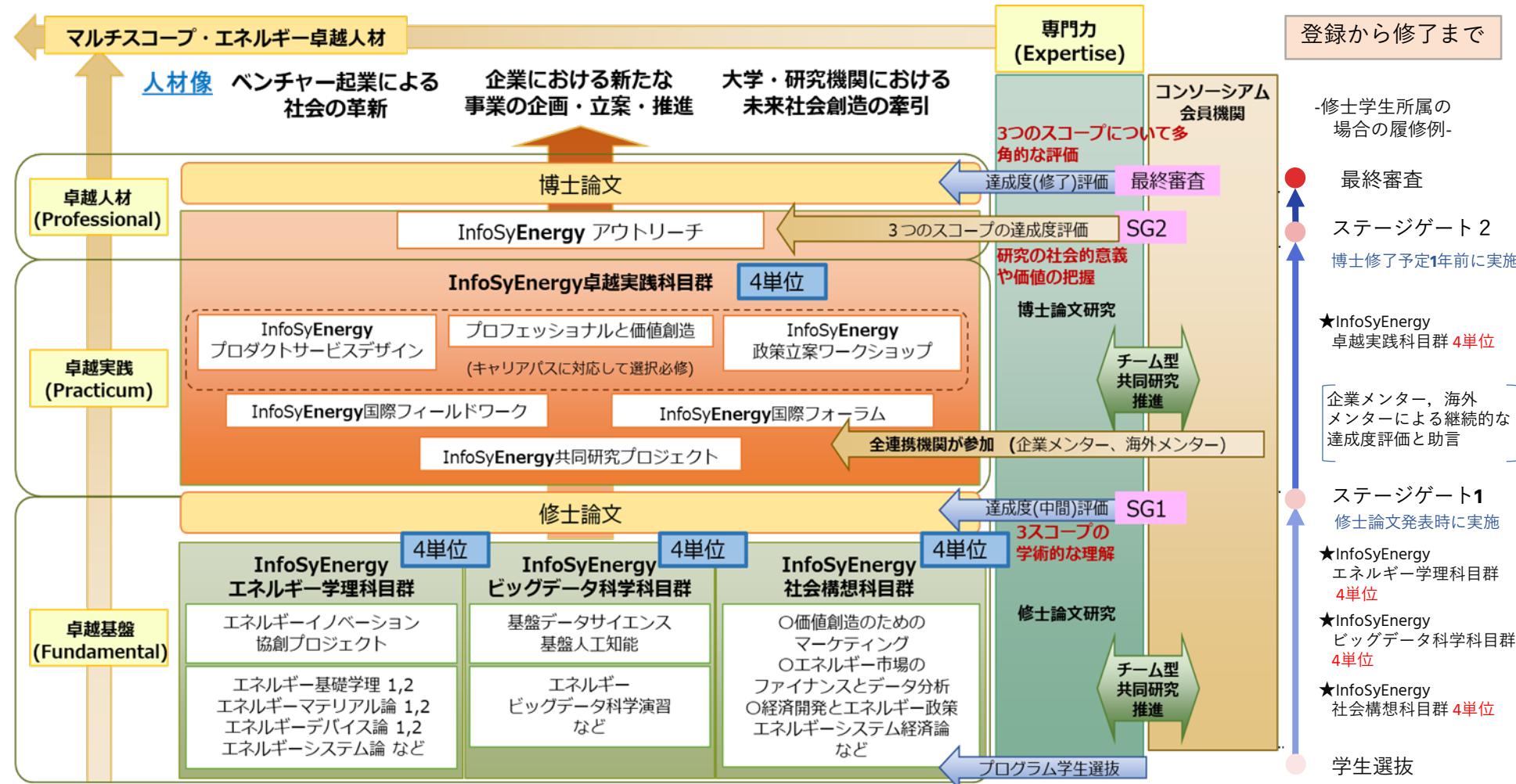
“マルチスコープ・エネルギー卓越人材”の育成

“ビッグデータ科学”（AI解析+データ科学）を活用した

マルチスコープで新しいサステイナブルなエネルギー社会をデザインする人材



② カリキュラム



③ 登録学生への経済的支援と学生選抜について

➤ 教育院学生への経済的支援

- 博士後期課程在学中、高い研究能力と将来性が認められた者に対して 年間253万円を上限とした支援（奨励金）
(上記に、つばめ奨学金48万円/年、指導教員RA 20万円/年を含む)
- SPRINGおよびBOOSTに採択された場合は、上記奨励金の代わりにRAによる経済支援
- 「InfoSyEnergy研究/教育コンソーシアム」により推進される企業との共同研究への参画と経済支援
- InfoSyEnergy国際フィールドワーク・InfoSyEnergy共同研究プロジェクト（国内外の留学・派遣、企業等のインターンシップ）における旅費の一部支援
- InfoSyEnergy共同研究インセンティブ助成制度（自ら主体的に実施する独創的な研究活動に対し研究費を助成）
- InfoSyEnergy国際フォーラム参加費用（旅費等）の支援

➤ 学生選抜について

対象は修士課程学生、専門職学位課程の学生、博士課程の学生です。

本教育院学生となるためには、下記の2段階の選抜を経る必要があります。

<2段階選抜>

- ①第1次選抜（登録候補学生選抜）：年2回（4月、10月）
- ②第2次選抜（正規登録学生選抜）：年2回（9月～、3月～）

※各選抜についての詳細はウェブサイトを必ずご確認下さい。

2) 物質・情報卓越コース

博士後期課程対象

2025年4月に物質科学と情報科学が融合した新たな複合系コース「物質・情報卓越コース」がスタートしました。

本コースは、2019年4月に開始した卓越大学院プログラム「物質・情報卓越教育課程」を発展させた、博士後期課程学生を対象とする複合系コースです。これまで培ってきた教育プログラムをベースに、さらに革新的なカリキュラムを提供し、情報科学を駆使して複眼的・俯瞰的視点から発想し、新社会サービスを見据えた独創的な物質・情報研究を推進できる「複素人材」を育成します。

本コースでは、物質・情報卓越教育課程と同様に、産業界との協創による社会サービスを見据えた実践的な教育を行い、持続可能な社会を構築するための新産業創出を担う人材を養成します。また、本コースの学生が経済的に独立し、勉学に集中できるよう、奨励金やRA給与による経済的支援も行います。

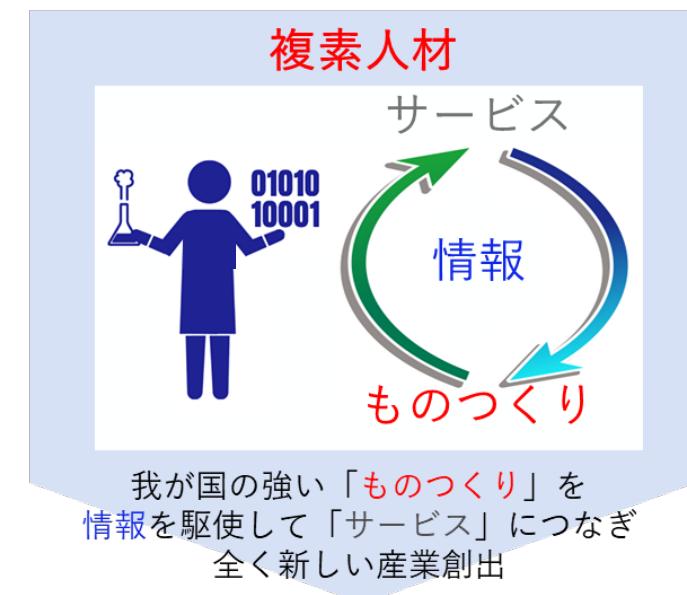
① コースの理念

「物質×情報＝複素人材」の育成

持続可能な社会の構築のために産業の革新が求められている現代において、物質と情報を自在に操り「ものつくり」を社会のサービスにつなげて考えられる人材が必要とされています。

本コースでは物質と情報をリンクさせ、情報科学を駆使して複眼的・俯瞰的視点から発想することで、独創的な物質・情報研究を進める「複素人材」を養成します。

「物質×情報」の知のプロフェッショナルを育成



② コースの特長

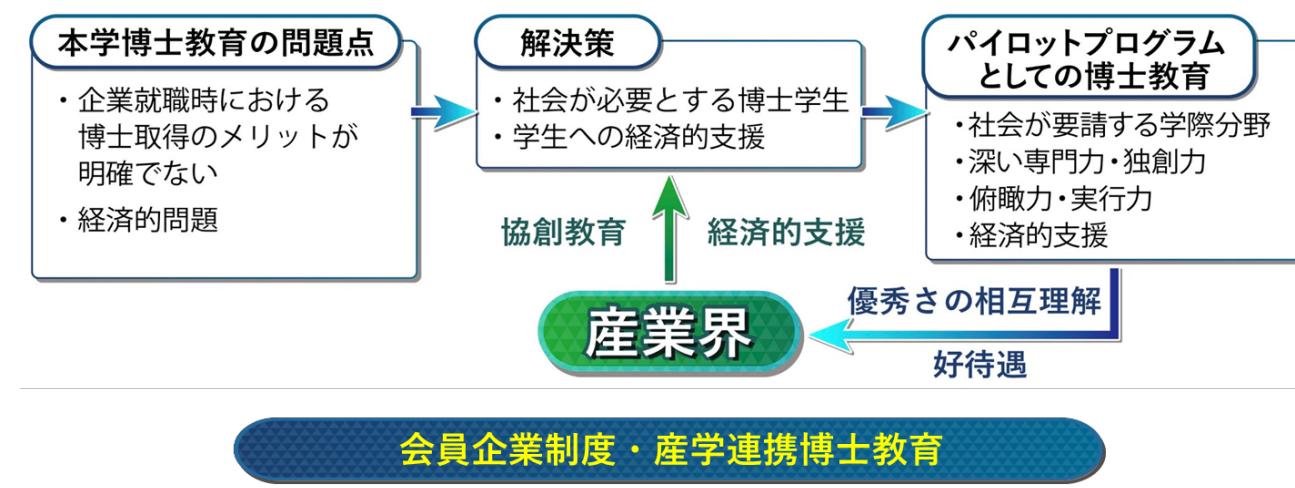
社会が必要とする卓越した博士人材の育成

本コースでは、産業界と協働し、社会が必要とする博士学生を育成する**産学連携教育**を行います。

学生の独創力、俯瞰力、実行力、国際リーダーシップ力を涵養するための教育および学生への経済的支援を行うため、企業からの支援を積極的に受け入れる「会員企業制度」を導入しています。

会員企業から人的及び財政的支援を得る一方で、大学側は、企業に対し物質・情報に関する最新情報やリカレント教育の機会を提供します。

年2回開催する中間発表会では、企業メンターとの面談を実施し、発表や研究、キャリアパスなどについてアドバイスをいただきます。



様々な研究分野の参加者が集まる
中間発表会でのプレゼンテーション

Science Tokyoオリジナルの物質・情報プラクティスクール

一つの企業に教員及び複数名の学生が、**6週間**一緒に滞在し、企業に分散している多くの情報を集め、学生が身に付けた物質科学と情報科学の知識・経験を駆使し、企業の抱える最新の重要課題をグループで解決します。学生はスクールで必要となる知識、技術などを修得した上で、企業での**プラクティスクール**実施に挑みます。企業が抱える最新の重要課題に取り組み、決められた期間内で解決策を提示するという経験は、博士後期課程での研究にも大きく役立ちます。

③ 学生への支援

物質・情報卓越コースでは、コースの履修学生が経済的に独立し、勉学に集中できるよう、奨励金やRA給与による経済的支援を行います。

(1) 物質・情報卓越コースの学生への経済的支援（奨励金）

- 本コースを履修する学生に対し、奨励金およびつばめ博士学生奨学金等により、年間**248**万円を上限として支援を行います。

(2) 重複受給制限のある奨学金受給者、JSPS特別研究員(DC1, DC2)、「Science Tokyo SPRING」、「Science Tokyo BOOST」、国費留学生への経済的支援

- 本コースの奨励金を重複受給できない上記の学生には、各制度の経済支援に加えて、本コースからも**RA**雇用による給与を支給します。

複合系コース「物質・情報卓越コース」

物質・情報卓越コースは博士後期課程学生を対象とした複合系コースです。

本コースの履修を希望する方は、本学博士後期課程へ進学前に履修資格審査を受ける必要があります。履修資格審査は修士課程1年から応募可能です。

詳しくは、下記のウェブサイトをご覧ください。

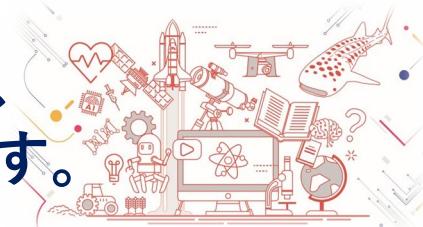
※物質・情報卓越教育院（教育課程）の登録学生募集は2023年度で終了しました。

https://www.tac-mi.titech.ac.jp/gm_top/





2026年4月、超スマート社会卓越教育課程の後継として、
新複合系コース『超スマート社会卓越コース』を開設します。



POINT

- ★ 卓越教育課程とは違い、制度上の学位認定を行います。
- ★ 博士後期課程のためのコースです。
- ★ これまで通り、SSS推進コンソーシアムを介して社会と密に連携した研究と教育を実践します。



超スマート社会卓越コース特設サイト
<https://www.wise-sss.titech.ac.jp/special/>

FEATURE

01. 新産業を創造する

専門分野とは異なる教育研究フィールドを活用し、独自の演習や企業との対話を通じて、異分野融合研究を体験し、その先にある新しい産業を構想します。

02. 最先端の科学技術がそこに

キャンパス内外に設けた教育研究フィールドを活用し、様々な分野の最先端技術を実践的に学びます。

03. 社会と連携した学びの場

社会と連携した学びの機会を提供します。起業に関する実践的なノウハウや先輩達の多様なキャリアを知り、異なる専門分野の学生とネットワーキングを行います。

04. 充実のオンライン教育

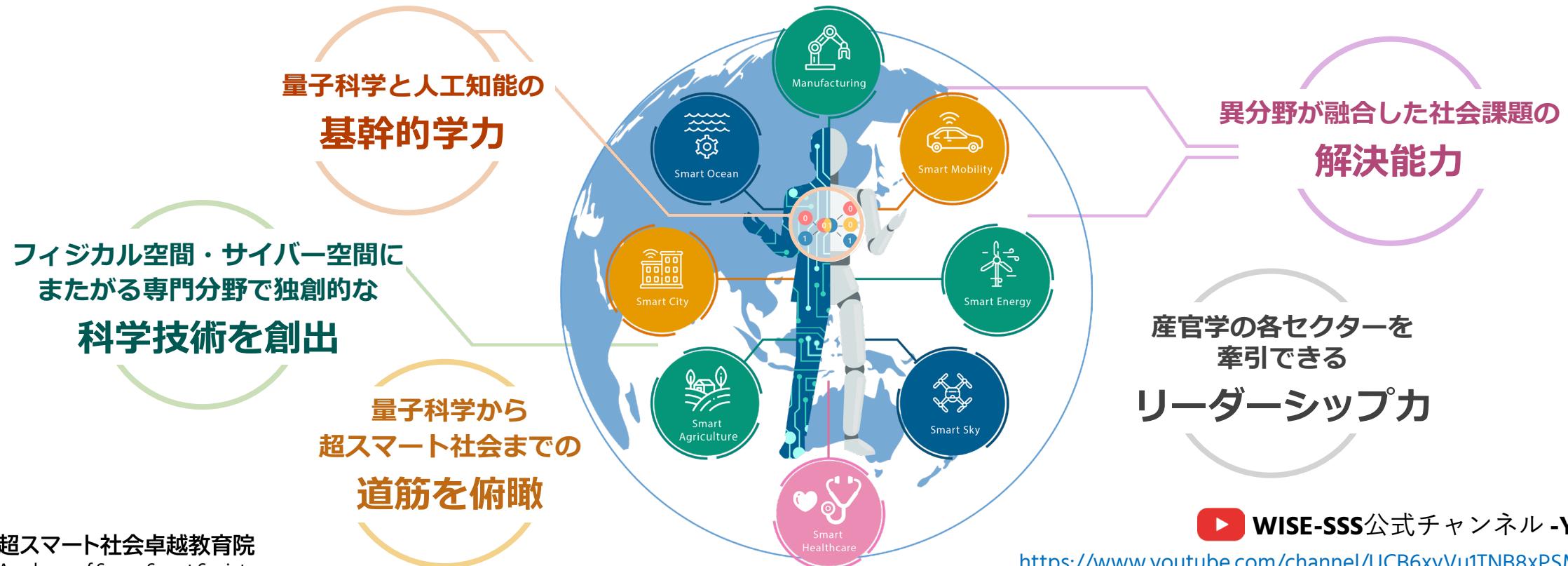
企業や研究機関、省庁の一流の研究者や技術者によるオンデマンド講義を通じて、実社会の様々な課題や最先端の取り組みについて学びます。

05. 充実のキャリア支援

SSS推進コンソーシアム参加機関を中心に、インターンシップや企業見学会など様々なキャリア支援を行います。

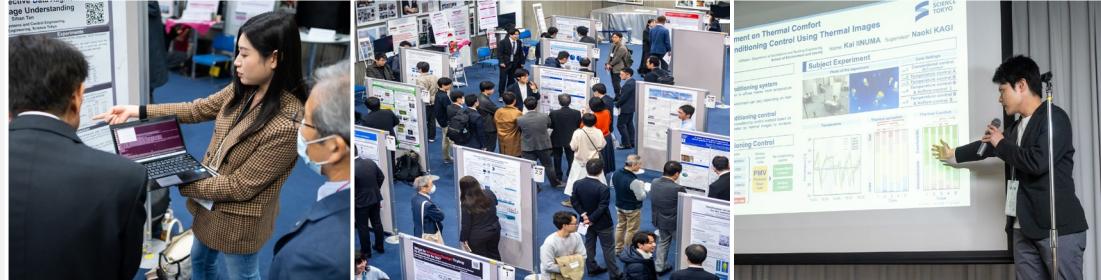


修士・博士後期課程を一貫したプログラムにより、フィジカル空間技術とサイバー空間技術の統合にとどまらず、量子科学や人工知能などの最先端の科学技術を融合できる知のプロフェッショナルを育成



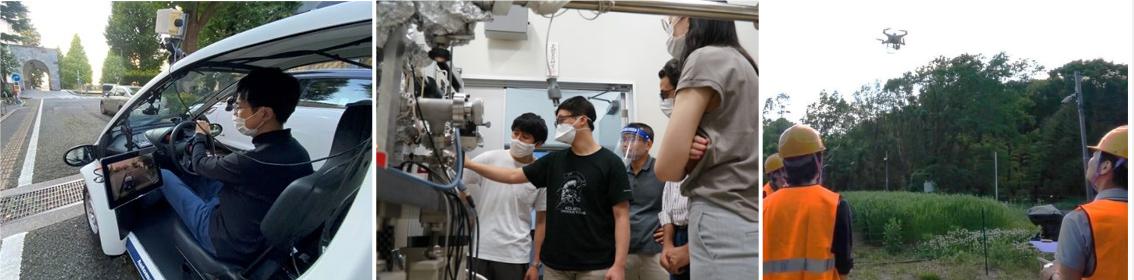
社会連携教育(オープンエデュケーション)および異分野融合研究(オープンイノベーション)の融合

SSSマッチングワークショップ



企業や研究機関、自治体の方々と意見交換することで、新たな視点やアイディアを得ることができます。マッチングワークショップを契機として、異分野間の共同研究も生まれています。

超スマート社会構想ワークショップ



最先端の科学技術を結集した超スマート社会を構想する教育研究フィールドにおける演習を通して、異分野融合研究を構築する機会を提供します。

コンバージェンス・サイエンスへの招待 (オンデマンド講義)



企業や研究機関の研究者・技術者によるオンデマンド講義を通じて、社会課題を解決するための最新の取り組みについて学びます。講師と学生が議論し、超スマート社会の実現を模索します。

大田区起業オフキャンパスプロジェクト



研究テーマの事業化を目指した実践的なカリキュラム。大学発ベンチャーの社長等をゲストに迎え、ビジネス体験談を受講。大田区連携事業ならではのフィールドワークにも注力します。

5) 各教育課程の説明会①

2. エネルギー・情報卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録候補学生を募集します。

（登録学生となる為の選抜は、登録候補学生の中からの選抜のみとなります）

学生募集説明会は**10月9日（木）と10月15日（水）** いずれも**12：30-13：30**です。

参加には事前登録が必要です。

詳細は、ウェブサイトをご確認下さい。



<https://www.infosyenergy.titech.ac.jp/Academy/>

E-mail : management_office@infosyenergy.isct.ac.jp

3. 物質・情報卓越コース

本コースは博士後期課程学生を対象とする複合系コースです。

本コースの履修を希望する方は、本学博士後期課程へ進学前に履修資格審査を受ける必要があります。履修資格審査は修士課程1年から応募可能です。

物質・情報卓越コースの説明会は10月29日（水）に開催予定です。

ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

https://www.tac-mi.titech.ac.jp/gm_top/

E-mail : tac-mi@adm.isct.ac.jp



4-1. 超スマート社会卓越教育課程

2025年8月をもって、超スマート社会卓越教育課程の学生募集は終了しました。

4-2. 超スマート社会卓越コース

2026年4月、超スマート社会卓越教育課程の後継として、新複合系コース『超スマート社会卓越コース』（博士後期課程学生対象）を開設し、学生の受け入れを開始します。超スマート社会卓越コース進学説明会は2025年10月頃に開催予定です。説明会情報は以下のWebサイトに掲載するほか、Slack、Science Tokyoニュース等でご案内します。

1) 超スマート社会卓越教育院Webサイト <https://www.wise-sss.titech.ac.jp/en/>

2) 超スマート社会卓越コース特設サイト <https://www.wise-sss.titech.ac.jp/special/>

E-mail: wise-sss@jim.titech.ac.jp



8. 経済支援にかかる情報

1) 一般的な経済的支援等

1. TA・RA制度

<http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/syoku/index.html>



RA（リサーチアシスタント） ……研究実験の補助など、研究にかかる業務補助を行う学生

TA（ティーチングアシスタント） …教育や授業の補助・準備など、教育にかかる業務補助を行う学生

※大学から時間単価の給与を受け取ることができます。ただし勤務時間に上限あり。

2. 入学料・授業料の徴収猶予・免除

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/exemptions>



課程	入学料	授業料(半期)	授業料(年間)
修士・博士後期課程 (2019年9月以降の入学者)	282,000円	317,700円	635,400円

入学料：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。

※ 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業成績等が優秀と認められる者。
(修士課程及び専門職学位課程から博士後期課程に学内進学する者は入学料なし)

※ 入学前1年以内において、生計維持者が死亡し、又は本人
若しくは生計維持者が風水害等の災害を受けた者

授業料：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。

※ 上記条件と同様

詳細はホームページ
をご確認ください

3. 奨学金

(1) 日本学生支援機構 (JASSO)

<https://students.isct.ac.jp/ja/012/tuition-and-scholarship/jasso#md-current>



日本人学生、永住者等の外国人学生を対象とした、本学の約1～2割の学生が利用している我が国最大の貸与奨学金です。

第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

種類	貸与月額	
第一種奨学金 (無利子)	修士	5万円、8.8万円から選択
	博士	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金 (有利子)	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	

(2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/financial-aid>



大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。地方公共団体の奨学金は、主に貸与奨学金（返還必要・無利子）であり、民間財団の奨学金は、給付奨学金（返還不要）と貸与奨学金（返還必要・多くが無利子）の2種類に分かれます。

(3) 私費外国人留学生用奨学金

<https://www.titech.ac.jp/students/tuition/scholarships>



民間の財団等での奨学金があります。

(4) 東京科学大学基金奨学金（理工学系）

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/giving-scholarships>



※申請資格、所得制限、申請時期等は、本学Webページを確認してください。

奨学金名	対象	採用予定人数	月額
青木朗記念奨学金	修士課程1年次(4月現在)	3名	5万円
高砂熱学工業創立100周年記念奨学金	修士課程1年次(4月現在)	2名	5万円
AirTrunk奨学金	修士課程1年次(4月現在) 女子学生	2名	5万円
出光興産奨学金	修士課程1年次(4月現在) 物質・生命理工学院	2名	5万円
ADEKA奨学金	修士課程1年次(4月現在) 留学生 理・工・物質・情報理工学院	3名	8万円

(5) 東京科学大学 つばめ博士学生奨学金

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/tsubame-scholarship>



対象：学院に所属する博士後期課程の者（2025年度現在）※条件あり
奨学金の額：年額48万円（2年次以降 年額48万円又は年額63.54万円）

2) 日本学術振興会特別研究員

制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金（月額20万円）を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、申請書と併せて提出する研究計画調書に基づき、採用期間中、最大450万円の研究費を受給できます。採択率は過去3年平均20%程度です。

対象者・・・各採用年度の4月1日時点で大学院博士課程に在学している者
（予定含む）です。

応募時期・・・採用年度の1年前の3～6月ごろです。

2026年2月中旬から募集が始まるのは、

2027年度採用分（2027.4.1採用開始）です。

学振特別研究員（DC1、DC2）に採用された場合、採用期間中の授業料が全額免除。
東京科学大学独自の制度のため、本学以外の大学院に入学した場合は対象外。

応募区分

DC1

採用開始時*、博士課程後期第1年次相当（在学月数12ヶ月未満）
に在学する者

DC2

採用開始時*、博士課程後期2年次以上の年次相当（在学月数
12ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者

*2027年度採用の場合、2027.4.1現在

» 審査区分 ・・・ 申請する資格（DC1またはDC2）毎に審査

» 採用期間 ・・・ DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

● 研究奨励金と特別研究員奨励費

研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。

DC1、DC2ともに月額**20**万円が支給されます。研究奨励金の使途は自由です。

特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。

採用期間中、最大450万円の研究費が受給できます。

研究のための補助金ですので、自身の研究遂行のためにしか使用できません。

申請は、応募時に提出する研究計画調書のみです。（応募時に申請しないと、受給できません）研究計画調書の内容を審査され受給額が決定します。

報酬の受給には制限がありますので、採用時には、遵守事項を確認してください。

また、日本学生支援機構や国費奨学金、つばめ奨学金など国費を原資に含む奨学金は受給できません。

● 特別研究員DCのキャリアパス

採用後の就職状況について

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-pd/3/syusyoku/R6_DC.pdf



『学振の調査結果より』（令和6(2024)年4月1日現在）

日本学術振興会特別研究員-DCは、5年経過後調査では、73.1%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。

● 特別研究員DC応募スケジュール

次回の募集は2027年度採用分です。

募集要項が未公開のため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

2026年2月上旬	募集開始（募集要項等の公開）
2026年4月中旬	電子申請システムで申請書受付開始
2026年5月下旬	学内の申請書提出締切
2026年10月	一次結果開示（採用内定、二次候補、不採用） → 二次候補となった方のみ二次選考へ
2027年1月	二次結果開示（採用内定、不採用、補欠）
2027年2月	補欠繰上結果開示
2027年4月1日	採用開始

- ・ 本学では、例年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。（Zoom開催予定）
次スライドでご案内するHPおよびslackによる情報提供予定
- ・ 過去に学振特別研究員に採用された方のご厚意で提供いただいた申請書の閲覧サービスを行っておりま
す。<閲覧のみ、複写不可> 閲覧をされる場合はメールにて希望日時（30分）をご連絡ください。

● 日本学術振興会特別研究員 参考情報

東京科学大学日本学術振興会 特別研究員

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsp_s_tokken/index.html



日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>



問い合わせ先

東京科学大学 研究推進部 研究資金支援課 研究資金助成グループ

事務室：事務局3号館2階

(大岡山キャンパス正門から学内セブンイレブンに向かって直進、左側、
検収センターの一つ先隣の建物)

メール：j-fellow@adm.isct.ac.jp

TEL：03-5734-3806 (内線3806、7221)



事務局3号館

3) 博士後期課程学生向け経済支援プログラム - Science Tokyo SPRING, Science Tokyo BOOST

二つの博士後期課程学生向けの経済支援プログラムを紹介します。経済的負担やキャリアの不安を持たず、躊躇なく博士に進学し、自身を最大限に生かす幅広いキャリアを選択できることを目的としており、生活費相当となる研究奨励費と研究費を最長3年間支援するとともに、研究力向上やキャリアパス支援に関する様々な取組みに参加します。

① 総合知と癒しの次世代フロントランナー育成プログラム（理工学系）（Science Tokyo SPRING）

- ・ 支援対象

総合知と癒しの次世代フロントランナーとして、現代社会が直面する諸問題を解決し、地球上の全ての構成員の福祉と幸福に貢献する意思を有する者

- ・ 支援内容

費目	支給額	対象者
研究奨励費（生活費相当額）	年額216万円（月額18万円）	全員
研究費	年額30万円（半期15万円）	全員
学外研鑽プラス（学外研鑽のための旅費支援）	行先・期間により異なる	申請者のうち合格者のみ

- ・ 主な取り組み（義務）

1. 学外研鑽（海外または国内の学外機関での90日以上の研鑽）
または、科目履修（7-8単位）：データサイエンス・AI科目、アントレプレナーシップ科目、日本語科目から
2. イベント参加（年2回以上）：研究会、セミナーなどのイベントに参加
3. 越境交流ワークショップへの参加（年1回）：全員参加

② トップレベルAI研究のための共創型エキスパート人材育成プログラム（理工学系）（Science Tokyo BOOST）

・支援対象

次世代AIに関連する広範な研究領域においてトップレベル、あるいはトップレベルを目指す研究で、異分野との融合を分野横断的に実施する意思を有する者

・支援内容

費目	支給額	対象者
研究奨励費（生活費相当額）	年額360万円（月額30万円）	全員
研究費	年額30万円（半期15万円）	全員
学外研鑽プラス（学外研鑽のための旅費支援）	行先・期間により異なる	申請者のうち合格者のみ

・主な取り組み（義務）

1. データサイエンス・AI全学教育プログラム（エキスパートレベルプラス）を修得すること
2. データサイエンス・AI全学教育機構が開設する、TF(Teaching Fellow)育成プログラムを修了すること
3. DS・AI博士フォーラムに参加すること

2025年秋の新入生に対する上記両プログラムの募集については、9月下旬ごろにウェブサイトにて募集要項を公開します。



ここに記載したものは2025年9月博士後期課程入学者向けの内容です。予算の都合や事業の見直し等により、支援を中止する場合や、支援内容や支援学生の義務等を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

9. 大学院生活をより豊かに

1) 海外留学

● Taki Plaza B1階で留学に関する情報を集めよう

国際教育課（Taki Plaza B1階）では、留学関連資料を閲覧できます。また、募集中の留学プログラムや留学奨学金について案内しています。

➤ 留学コンシェルジュ（留学相談担当）に個別相談してみよう。

海外派遣業務に関わっている海外経験豊富な教職員が皆さんの相談に応じます。

例えば次のような悩みがあるときは、留学コンシェルジュにご相談ください。

- 留学をしたいけど何から始めていいか分からない
- 留学プログラムが沢山あり、どのプログラムが自分に合っているか分からない

➤ 相談方法

- 対面、Zoom、メールでの相談を選べます。

本学HP、留学コンシェルジュページの申し込みフォーム→
から予約してください。

留学情報館



留学イベントに参加しよう！

毎年春（対面）、秋（オンライン）で開催される留学フェアと、定期的に開催する留学報告会で本学学生のための留学最新情報をお伝えしています。本学の国際教育から各留学プログラムの募集情報にいたるまで、本学オリジナルイベントになっています。漠然と留学に興味のある人から、留学を真剣に考えている人まで、みなさんお気軽にご参加ください！



2) 語学学修

➤ 外国語学修相談室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/advisory.html>

外国語の授業でもっといい成績をとりたい、自分でできる外国語の勉強法を知りたい、留学のためにどんな準備をすべきか知りたいなど、外国語の学修に関することなら何でも相談できます（英・独・仏・中・露・西）。

- 開室時間 時間はウェブサイトでご確認ください。
- 担当者 リベラルアーツ研究教育院外国語セクションの専任教員



➤ Open English Office Hours <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/office.html>

英米加出身の講師が、英語学習に関わるさまざまな相談に応じています。一对一または少人数での会話ができ、リスニング、スピーキングの練習をするつもりで利用できます。

- 詳細はウェブサイトでご確認下さい。



➤ 外国語学修資料室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/resource.html>

外国語学習用に各種語学教材（英・独・仏・中・露・西・その他）の閲覧・貸出を行っています。

- 場所 西3号館7階701号室
- 開室時間 月～木（金・土・日・祝日休み）
- 貸出 1人2冊まで 2週間
- 詳細はウェブサイトでご確認ください。



3) にほんご相談室 Nihongo Space

にほんご相談室は、日本語での会話練習、個人チュートリアル（日本語学習に関するアドバイスや文章添削）、日本語自習テーブルなどの支援を行っています。

場所：	日時：
大岡山キャンパス 西1号館留学生ラウンジ	毎週水曜日と木曜日 (12:40-14:00)
すずかけ台キャンパス G1棟1F 116	詳細は下記URLに掲載



会話練習



個人チュートリアル

・会話練習
本学学生（ランゲージパートナー）と一緒に日本語の会話練習を行います。

・個人チュートリアル
日本語教員に日本語の文章をみてもらうことができます。
また日本語の勉強の仕方についても相談できます。

・日本語自習テーブル
授業の予習・復習、ひらがな・カタカナ文字の練習、JLPT対策など、
日本語学習のために日本語自習テーブルを活用することができます。

※にほんご相談室の詳細は右記URLへ。

https://js.ila.titech.ac.jp/~web/nspace_j.html



4) ライティングセンター

文章作成の相談相手、ここにいます！

website



- 場 所： 大岡山キャンパス TAKI Plaza 地下1階
- セッション： 最大で50分
- 対応言語&文章： 日本語、英語どちらも可
例) 英語で書いた文書を日本語で相談する (詳細はwebで)

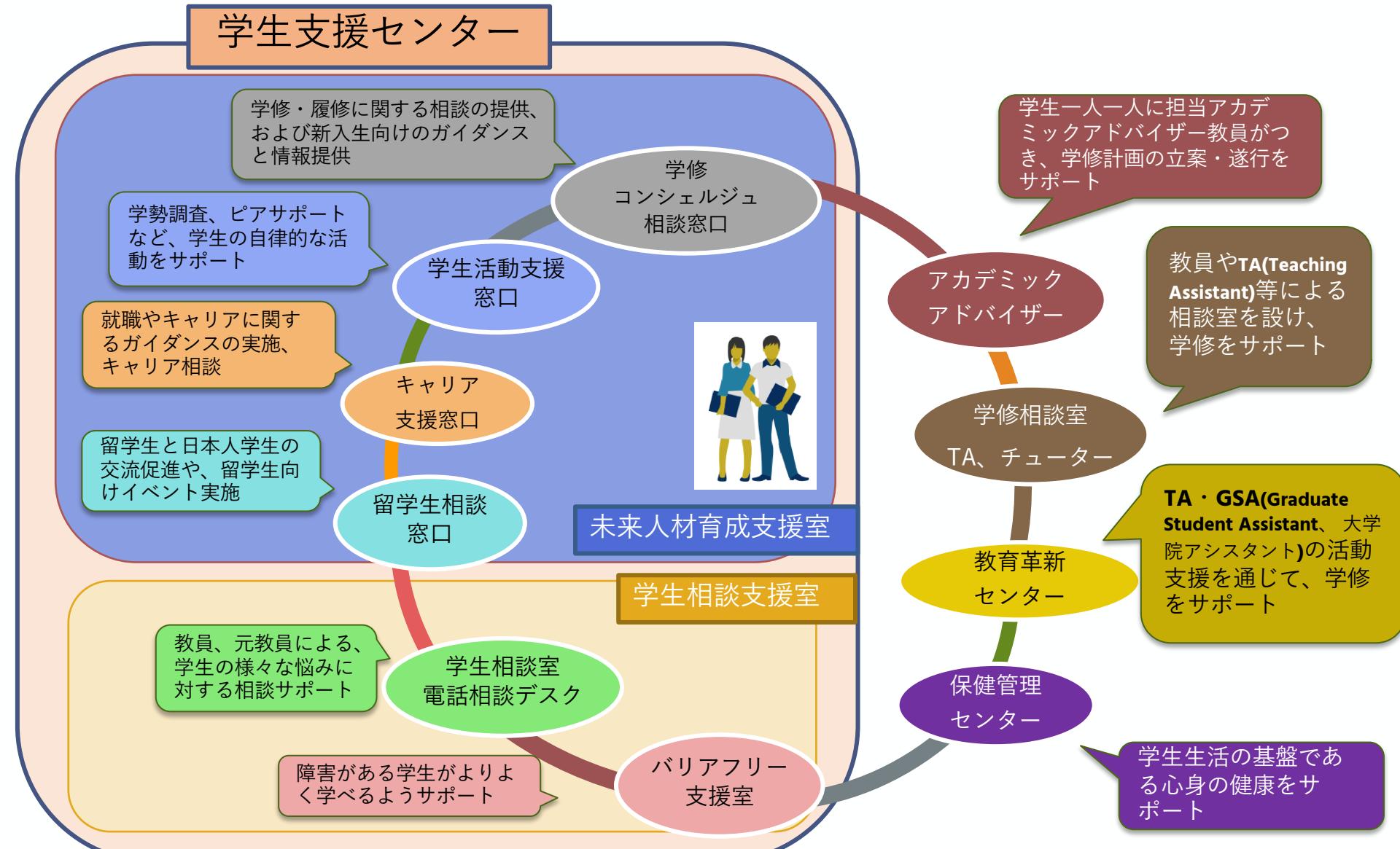
Q. 「ライティングセンター」は何をするところ・・・？

A. 書き手であるあなたが、アカデミック・ライティングの訓練を受けたチューターとの対話を通じて、文章の改善を目指す学修支援機関です。

Q. どんな文章を見てくれるの・・・？

A. 講義レポートや各種論文・留学志望書など、アカデミックなものであれば誰でもどんな文章でも、どの段階でも相談できます！遠慮なくご利用ください！

5) 支援体制・相談窓口



学生支援センター ウェブサイト：

<https://www.isct.ac.jp/ja/001/about/organizations/student-support-center>

6) 図書館

- 図書館をうまく活用できるよう、本格的に研究をはじめる大学院課程進学のタイミングで、図書館ウェブサイトをぜひご覧ください。既にご存知の方も、この機会におさらいしてみてください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/>



- 大岡山図書館には、グループ学習や研究発表に利用できるグループ研究室があります。すずかけ台図書館には、ひとりで集中できるブースや、オンラインミーティング等に活用できる個室があります。

https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/group_study



https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/seminar_room



https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/personal_research_area



➤ 講習会・セミナー

データベースの利用講習会を開催します。

※過去にオンラインで開催された講習会セミナーの一部は、
図書館ウェブサイトで閲覧できます。

<https://www.libra.titech.ac.jp/seminars>



➤ 電子資料の利用

大岡山キャンパス・すずかけ台キャンパスで利用できる電子資料をまとめました。大岡山キャンパス・すずかけ台キャンパス所属者はSSL-VPN経由で学外からもアクセスできます。ぜひご活用ください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/electronic>



➤ 文献収集などで困ったときは、こちらへご相談ください。

<https://request.libra.titech.ac.jp/cgi-bin/request/ask/ask.cgi?ulang=jpn>



7) リベラルアーツ図書室

- 貴重な人文科学系の書籍や資料からリベラルアーツ研究教育院教員の著書、最近の文芸書、辞典など約28,000冊を所蔵しており、一部を除いて閲覧、貸出が可能です。
- 国内外の名作映画など様々な分野のDVD、Blu-rayを約900作品そろえており、図書室内で視聴できるほか、一部は貸出もしています。
- 読書や自習スペースとしてもご活用ください。飲み物の持ち込み可能で、キャンパス無線LANをご利用できます。
- 場所：大岡山キャンパス 西9号館E棟1階114号室
- 開室日時：月～金曜日 10:30～17:00
(祝日・年末年始を除く、長期休暇中は13:15～14:15閉室)

URL : <http://libra.ila.titech.ac.jp>



X(旧Twitter) : @TokyoTechILLA Lib



8) 東京科学大学博物館・資料館



← 東京科学大学博物館 (正門入ってすぐ)
世界から注目される篠原先生の名建築！

2階：大学史、電気光通信、篠原一男

1階：くつろげるオープンスペースと生協

地下1階：人間国宝からノーベル賞まで
東工大の歴史的成果を展示

➤ 博物館 本学の歴史、研究の歴史的成果について知りたい！

場所：東京科学大学博物館（大岡山キャンパス）

入場無料

開館日時：月～金曜日 10:30～16:30 (祝日・年末年始を除く)

➤ 資史料館・公文書室 本学の歴史や工業教育史に関わる資料閲覧したい！

場所：G5棟7階（横浜キャンパス）

詳細についてはURL: <http://www.cent.titech.ac.jp/pg1166.html>

9) TSUBAME計算サービス

- TSUBAMEは、学術国際情報センター（GSIC）が2006年より運用しているクラスタ型スーパーコンピュータです。
- 2024年4月に稼働を開始したTSUBAME4.0は、国内有数規模を誇るスーパーコンピュータです。前システムのTSUBAME3.0の約5.5倍の演算性能（倍精度・行列演算）を有し、その計算能力は本学の学生・教員のみならず、日本全国の大学・研究所や多くの企業に利用され、ものづくり・防災・環境・医療・AIなどの幅広い領域で活躍することが期待されています。

<https://www.t4.cii.isct.ac.jp/docs/all/faq.ja/general/>



10) オンライン教育：MOOC

(Massive Open Online Course)

- MOOCは、誰でも受講することができるインターネット授業です。世界中の1,300を超える大学から200,000以上の授業が公開されています。
- 英語で発信している授業が多数あり、また英語の字幕もあるため、英語の勉強にも役立ちます。
- 本学も18のMOOCを公開してきました。MOOCを開発するにあたって、大学院生の皆さんに有給のTAやGSA（大学院生アシスタント）として活躍してもらっています。
- 詳しくは、教育革新センターのウェブサイトをご覧ください。

<https://ocrd.citl.isct.ac.jp/>

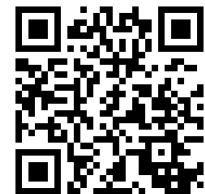


11) アントレプレナーシップ教育

► アントレプレナーシップ育成プログラム

アントレプレナーシップ（起業家精神）を身につけ、体系的にステップアップしたい人、実践プログラムで社会に価値を定着させる体験をしてみたい人、そして「やりたい」ことを明確に持ち、社会事業・ビジネスを始めたい人まで、どのカテゴリーにも対応できるプログラム（履修科目 およびイベント）が提供されています。

<https://www.titech.ac.jp/0/students/entrepreneurship>



12) 起業支援

➤ 起業を目指す学生向けプログラム及びスペース

本学では起業に関心のある学生に向けて支援を提供しています。具体的な支援内容については、イノベーションデザイン機構の学生支援サイトをご覧ください。資金支援プログラムから起業支援スペース、イベント情報、起業に関する手続きや見落としがちな注意点まで実践的なお役立ち情報を掲載しています。



■ Go Startup (学生向け起業相談室)

起業相談室「Go startup」は「起業に興味のある」学生ために、「起業に関する相談」や「事業やアイデアの壁打ち」といったコーチングを通じて、スタートアップへの後押しをすることを目的にしています。少しでも起業に興味のある学生さんに利用していただきたいので、気軽にご参加下さい！



■ ベンチャースタジオ

ベンチャースタジオでは、ハリウッドの映画スタジオが連続して映画を制作するように、内外から集まった事業アイデアに対して、各分野の専門家がビジネスプランの作成からプロダクトの開発、量産、グロースまでのサポートを提供します。社会の既成概念を塗り替える革新的な事業が次々と生み出せる仕組みです。



INDEST (Innovation Design Studio : インデスト) 起業活動を行う学生、教員、スタートアップの拠点

起業前の研究者・学生からスタートアップまで、Science Tokyoで起業活動に取り組む起業家達の拠点です。事業フェーズに応じた様々なオフィスを提供しており、登記も可能です。様々なワークショップやイベントを開催しているので、まずは一度来てみてください！



①イベント情報



②施設情報



③入居案内



JR田町駅徒歩1分

13) 大学同窓会による支援活動

➤ 蔵前工業会による支援活動 <http://www.kuramae.ne.jp/>

- 学修コンシェルジュによる新入生ガイダンス
- 学生分科会
(メンバーは在学生で構成、学生交流イベントの企画運営や、蔵前ジャーナル（蔵前工業会誌）に記事作成等で参画)
- 蔵前立志セミナー & 蔵前ゼミ
(OB/OGによる講演会・講義を大岡山とすずかけ台で開催)
- サークル活動等の学生支援（東京科学大学基金や募金活動に協力）
- 就職支援（就活イベント開催、就活支援ツールの提供、くらまえアドバイザー（OB/OG）によるキャリア相談）



➤ 学科別同窓会による支援活動

- 学科別同窓会：20同窓会
- 支援内容： 講演、就職活動支援他

➤ 研究室同窓会

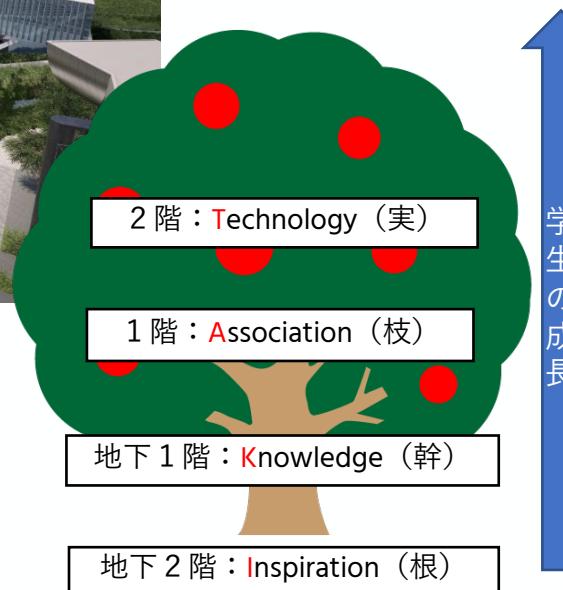
➤ サークル同窓会

14) Taki Plazaでの学生交流

大岡山キャンパスのランドマーク

Hisao & Hiroko Taki Plaza 通称 (Taki Plaza)は、学生交流施設です。

建物コンセプト：外国人学生と日本人学生がここで出会い、絆を深め、
共にまだ見ぬ未来を生み出そう。



Taki Plaza ウェブサイト



2階：クリエイティブスペース
志を持った学生が集まり、学生の創る
アイデア（技術）が「実」を結ぶ場。

1階：カフェ、パブリックアート
外の世界へつながり「枝」を広げる場。

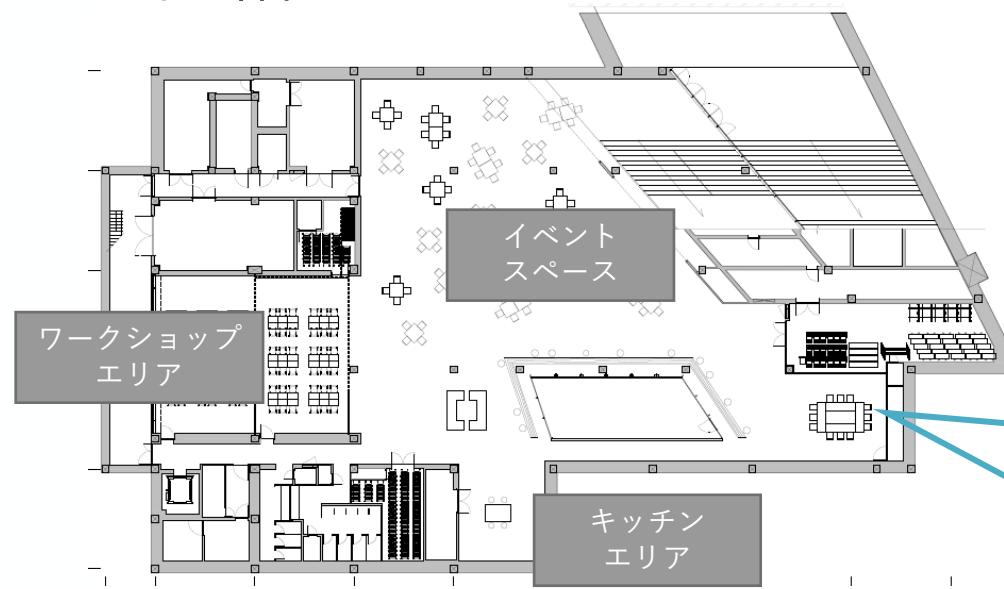
地下1階：留学・就職・学修情報エリア
知識を蓄積し、世界へ羽ばたくための
「幹」を強化する場。

ポイント：
「留学生支援の強化」
「学生同士の学び合い促進」

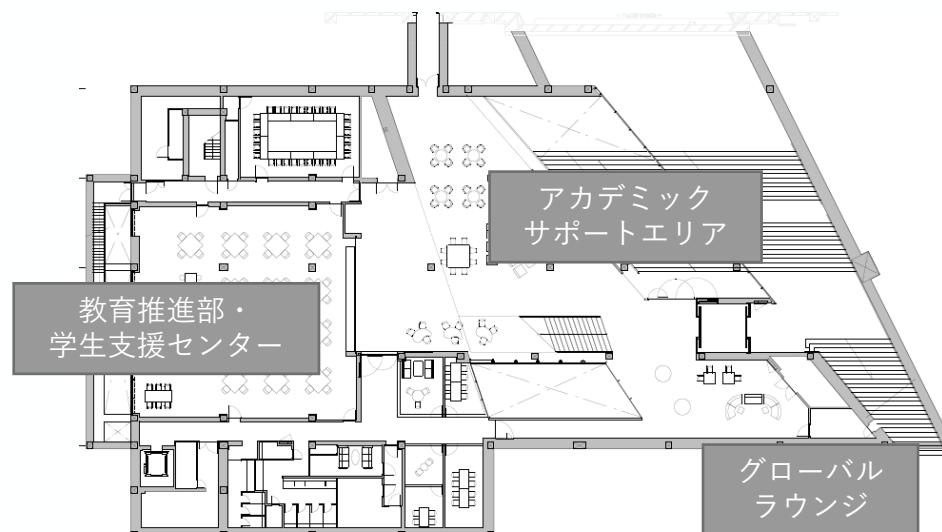
地下2階：イベントスペース
仲間との交流を通じて、「根」より
原動力となる“ひらめき”を得る場。

※1階、地下1階に教育推進部学生対応窓口を集約し、ワンストップサービスを実現。

地下2階



地下1階



イベントスペースでは、日本人と留学生の交流イベントや学生企画の様々なイベントを開催しています！

キッチンでは、留学生に母国の料理を教えてもらえるかも？

TPG居室

ここはTaki Plazaを学生目線で活用する学生団体Taki Plaza Gardener (TPG)の居室です！イベント開催やコミュニティづくり、フリーペーパーの発行等、Taki Plazaに関するあらゆることを考え、実行しています！

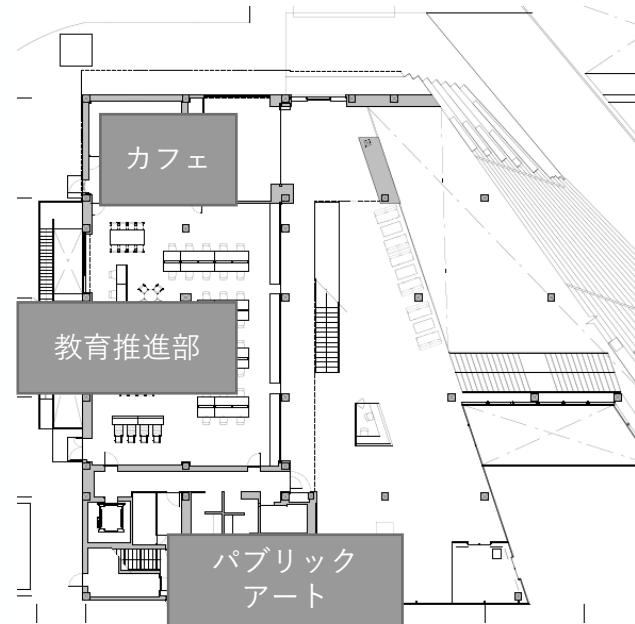


アカデミックサポートエリアには、留学や学修、就職情報コーナーがあり、各種コンシェルジュが相談にのってくれます！

グローバルラウンジは、海外放送が流れ、留学生が集うスペースです。

留学関係、課外活動、保険（学研災/学研賠）、学生寮、キャリア相談等の窓口があります。

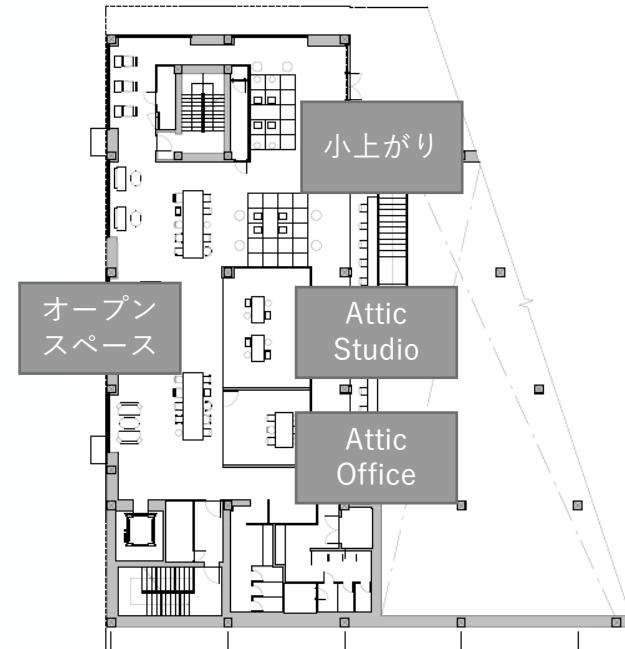
1 階



正門側の入口には「AKIRA」で有名な漫画家の大友克洋氏の巨大アート、ウッドデッキ側にはカフェがあります！

教務関係、経済支援の窓口があります。

2 階



小上がりスタイルの和室、ゆったり使えるカウンター席、座り心地の良いソファ席など、学生が自由に選べる様々なスペースが用意されています。

※Attic StudioとAttic Officeは、これまで管理していたAttic Labが管理を行わなくなった関係で、新たな管理者や利用方法を検討中であり、工房としての利用は中止しています。

15) 大岡山キャンパスのグループ学修室

共用施設	東地区	東地区	東地区	西地区
	★大岡山 図書館	★Taki Plaza 2階 (階段脇の長机)	★Taki Plaza B2階	★リベラルアーツ 図書室
写真	 	 	 	 
利用時間	HP参照	HP参照	HP参照 ※イベント時は使用不可	HP参照

自習・グループ学修室の詳細は下記ウェブページをご確認ください。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/study-room>



16) 国際交流・留学生支援

➤ Global Lounge

- ✓ Taki Plaza B1階入口すぐ
- ✓ 国際交流を目的としたスペース
- ✓ 国際交流企画や留学相談会の開催あり

※飲食はできません。

※オープン時間はTaki Plazaの開館時間に準じます。

Global Lounge (Taki Plaza B1階)
<https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp>



➤ 留学生のための学生によるヘルプデスク

- ✓ お昼休みにGlobal Loungeで開催
 - ✓ すずかけ台でも月2回開催
 - ✓ slackバージョンもあり！
- [#cl-international-student-helpdesk](#)
- ✓ 身近な疑問に学生スタッフが対応
 - ✓ 最新スケジュールはGoogleカレンダーで
(QRコードscan)

※日本人学生の皆さんもご利用いただけます。



➤ Slack 英語チャンネル

- ✓ 英語で情報共有・質問・交流できるチャンネルです！
- ✓ 留学生だけでなく誰でも参加OK
- ✓ 簡単な英語OK！
- ✓ 参加はこちらから

[#z-international-community-all](#)



大岡山ヘルプデスクポスター

すずかけ台ヘルプデスクポスター

➤ English Café

- ✓ 英語担当教員や留学生TAと英語でフリートーク
- ✓ お昼休みにオンラインで定期開催
(ランチを食べながらの参加もOK)
- ✓ Slackチャンネル [#cl-international-cafe](#)登録で
開催日にメッセージ受信
- ✓ ※開催スケジュールは外国語セクションウェブページでもご確認
いただけます。<https://www.fl.ila.titech.ac.jp/afe.html>

(リベラルアーツ研究教育院)



➤ 学生スタッフによる多言語チャット

- ✓ お昼休みにGlobal Loungeで定期開催
- ✓ 英語・中国語・韓国語・日本語の中から好きな言語を選んで参加
- ✓ 予約不要
- ✓ Slackチャンネル [#cl-international-cafe](#)登録で
開催関連情報ゲット
- ✓ 国際交流イベントカレンダー登録で
予定の確認可能



関連ウェブサイト：

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/extracurricular/jobs-campus/concierge-jr#InternationalExchangeTeam>

➤ 国際交流イベントカレンダー

- ✓ ひとつのカレンダーで学内の国際交流イベントを見られる便利なGoogleカレンダー
- ✓ 国際交流に興味のある方はご登録を！



17) 学生支援センター主催/共催のセミナー

➤ アートセミナー

学生支援センター未来人材育成支援室では、東京科学大生の創造性を育むことを目的として、年2回アートセミナーを実施しています。セミナーは英語・日本語の併用で行われ、多様な背景を持つ学生たちの交流を実現しています。2025年度、春のセミナーはすずかけ台キャンパスで5月に開催しました。秋は大岡山キャンパスで11月に開催予定です。Slackチャンネル#an-call-for-participants-参加募集-allなどに開催案内を掲載します。



➤ ものつくりセミナー

東京科学大学（旧東工大）OBが活躍する企業より企画協力いただき、ものつくりセンターと学生支援センター未来人材育成支援室主催でプログラミング、AI、セキュリティの初步を実践的に学ぶセミナーを実施しています。2025年度は、7月～1月の間に、オンラインと対面（大岡山キャンパス）で合わせて3回開催します。Slackチャンネル#an-call-for-participants-参加募集-allなどに開催案内を掲載します。



各セミナーの開催の様子はウェブページをご覧ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

10. 修士課程の主なスケジュールと 進路報告のお願い

1) 修士課程2年間の主なスケジュール (概要)

※2025年度のスケジュールを基に作成していますので、正式なスケジュールは各自で確認してください。

M1										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・第1第2 クオーター 履修申告 ・国家総合職 2次試験・ 官庁訪問対策講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・インター ンシップガ イダンス ・k-seek (インターンシッ プ企業研究会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1クオ ーター期末 試験・補講 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2クオ ーター期末 試験・補講 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3,4 クオーター 履修申告 ・短期留学 ・夏休みキャ リアガイダンス 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3 クオーター 期末試験・ 補講 ・K-find (蔵前工業会主催の企 業研究会) ・留学生就職ガイダンス 		<ul style="list-style-type: none"> ・第4クオ ーター期末試 験・補講 ・就職対策講座 (ES &面接対策) 		<ul style="list-style-type: none"> ・就職 活動解禁 ・K-Meet (蔵前工業会 主催の合同企 業説明会)

M2										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・第1,第2 クオーター 履修申告 		<ul style="list-style-type: none"> ・第1クオ ーター期末 試験・補講 ・企業の 選考開始 ・就職活動 再点検講座 ・K-Meetplus (蔵前工業会 主催の合同企 業説明会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2クオ ーター期末 試験・補講 		<ul style="list-style-type: none"> ・就職正式 内定 ・第3,4 クオーター 履修申告 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3 クオーター 期末試験・ 補講 ・修士課程 学位論文 審査申請 ・博士後期 課程 進学願書 受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4クオ ーター期末試 験・補講 ・博士後期 課程進学 試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・論文発表 会、論文審 査及び最終 試験 ・博士後期 課程進学合 格通知発送 ・学位記授 与式 		

2) 進路報告のお願い

本学では、修了・単位修得退学するすべての方に
進路報告をお願いしております。（修士・博士後期課程共通）

この報告は、大学が国から義務付けられた調査への回答や、本学の就職率・大学ランキング算出などの基礎データとなる大切なものです。

何より、皆さんのお後輩が就職・進学を考える際に大いに役立ちますので、ご理解、ご協力を
お願いします。

**進路の報告は
卒業・修了・単位修得退学の1か月前が
締め切りです**

対象 全課程の卒業・修了生 および 博士後期課程単位修得退学者



就職・
勤務先に戻る 進学 採用試験準備 就職活動継続 進路未定・
その他

学生支援課 支援企画グループ (Taki Plaza B1F)
E-mail : career.rep@adm.isct.ac.jp
Slack : #an-career-report-進路報告

詳細は[こちら](#) 

進路報告の詳細は以下よりご確認ください。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career/report>

この他、キャリアに関する情報は以下より
ご覧いただけます。
<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career>

<本件担当>
学生支援課支援企画グループ
E-mail : career.rep@adm.isct.ac.jp
Slack : #an-career-report-進路報告